

# Web Fairy



# Paradise

改訂：2015/3/25 PM17:10

**第81号**

## 今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第70回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第71回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第87回 推理将棋出題
- ・ 第88回 推理将棋出題
- ・ 強欲な世界パート3

## 結果発表

- ・ 第69回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第86回 推理将棋出題
- ・ 強欲な世界パート2

## 読み物

- ・ Fairy TopIX2014 投票要項



**2015/3**

## はじめに



### バリィさん

ゆるきゃらが出始めてまだそんなに年月も経っていないような気もしますが、現在ではすでに数え切れないほどのゆるきゃらが存在していますね。そのはしりともいえる第2回ゆるきゃらグランプリ優勝の今治市のゆるきゃら：バリィさんが5周年とのことで何と誕生5周年オリジナルフレーム切手が発売されました。元切手収集家としては思わず限定4000セットという言葉に誘われ購入してしまいました。

買ってしまっただろうと思案した結果、今月より投票開始の Fairy TopIX2014 の賞品にすることにしました。物に釣られて投票する人がいるとは思えません(笑)きっかけになればと思います。

Fairy TopIX2014 とは 2014 年に WFP 掲載されたフェアリー作品、推理将棋にお気に入り投票して頂き、フェアリー詰将棋(短、中、長編)推理将棋・プルーフゲーム(短、中長編)の5部門に分けてトップ3を決めると言うものです。(名誉ですが)

毎回、全部見てないとか、解いていないとか尻込みされ投票して頂けないケースが多いのですが、ぜひとも手順や解説を見て頂き、1作でもこれいいな!と思った作品があったらその作品を投票して頂きたいと思います。全部門投票する必要もありませんし、お気軽に投票いただければと思います。

今年は花粉症の症状がひどいです。ここ数年はほとんど症状もなく治ったのかなと思っていたのですがそんなに甘くはないようです。皆さんはいかがでしょう?

やっと春の暖かさを感じるようになってきました。解図するのもよい季節??

## は

### 【募集】

#### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

#### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

#### 感想

第81号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

#### 協力いただいている方々の HP アドレス

\*ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>



第 71 回の新規出題です。どちらも問題数は 10 題ですが、第 71 回の作者は上谷氏と変寝夢氏のお二人だけ。このところ、登場する作者数が少ないのがちょっと心配ですが、読者の皆さんの投稿で懸念を払拭してください。もちろん、解答の方もお待ちしております。

〔第 70 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 70 回の出題は全 10 題。偶然にも短編特集になったので、自分が解き易そうなものから始めると良いと思います。

**70-1** は占魚亭氏が客寄せ用にと送ってくださったもの。まずはこの作品でウォーミングアップですね。

**70-2** は上谷直希氏によるシンプルな構想作。打歩詰には歩が必要ですが、キルケなので簡単には歩は手に入りません。さてどうするか、という問題です。

**70-3** も上谷直希氏の作品ですが、こちらはクイーンの性能を持つ玉を詰めよという問題。普通詰将棋で玉がこんなに強力だと困りますが、協力詰だとたった 7 手で詰むのです。さて、その詰手順は？

**70-4**～**70-10** は変寝夢氏によるフェアリー駒を使った作品群。どれも駒の特徴が良く出ています。本作品展では初登場となる駒もあるので、駒の性能を確認してから解図してください。

**70-4** は「走る騎」であるナイトライダーを使った作品。受方の持駒が「なし」であることに注意して解いてください。

**70-5** は第 52 回作品展でも登場した Equihopper を使った作品です。これはジャンプ台となる駒を中心に点对称の位置に跳ぶ駒で、他の hopper（例えば Grasshopper）とは異なる独特の味があります。

**70-6** は本作品展では初登場の NightRider-Hopper を使った作品です。Grasshopper はクイーンの利き筋に沿って一つ駒を跳び越える駒でしたが、NightRider-Hopper はその名の通りナイトライダーの利き筋に沿って一つ駒を跳び越える駒です。今回は図面作成の都合上、駒の名前に「蜚」（コオロギまたはキリギリス）を当てはめていますが、もっと良い文字があったらそれを使いたいと思います。

**70-7** と **70-8** はフェアリー駒と変身ルールの組み合わせ。69-5 はナイトライダーと背面の組み合わせでしたが、今回は駒が Lion（鬣）、ルールが対面と安南です。いわゆる「法則問題」の

詰上りではないので安心して解いてください。

**70-9** は Hopper 系の駒の元祖とも言える Grasshopper を使った「打歩」の条件が付いた協力自玉詰。こちらの打歩も再帰的な判定が必要のない「単純打歩」なので、法則問題の心配をせずに解くことができます。

**70-10** は中立駒を使った超短編。2 つ解があるので、なるべく両方求めてください。クイーンという強力な駒は自玉を詰めるにも便利だと分かるでしょう。

〔第 71 回作品展各題への補足説明〕

第 71 回の出題は全 10 題。最初の 3 問が上谷直希氏による協力詰特集、残りの 7 問が変寝夢氏のバラエティに富んだルールの作品群です。すべて短編で、どれも難度は控え目です。

**71-1** は同じ図面で手番を入れ替えて、協力詰として解けという問題です。**65-10** のたくぼん氏作と似ていますが、盤だけがひっくり返った **65-10** と異なり、この問題では駒台ごと入れ替わっています。後手の持駒は「残り全部」ですので、必然的に「駒余り可」のルール設定になっています。

**71-2** 及び **71-3** は正統的な短編協力詰。できれば両方解いて、共通点と相違点について考察してください。

**71-4** は攻方だけが連続して着手し、最短手数で詰めるという「連続詰」です。ただし、詰むとき以外に王手を掛けてはいけません。割と分かりやすいルールだと思いますが、念のために過去の作品例をご覧くださいませ。

〔参考〕 出口信男作（カピタン、1986 年 9 月）

連続詰 21 手

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 歩

44 歩 43 歩成 44 と 45 と 46 と 47 と  
 48 と 64 歩 63 歩成 64 と 65 と 66 と  
 67 と 68 と 54 歩 53 歩成 54 と 55 と

攻方のみが指すので合駒は手に入りません。攻方持駒と盤上の駒のみで作れる詰上りは何だろうと考えてから解いてください。

**71-5** は盤の同じ筋同士が上下で繋がった「縦シリンダー盤」を使った作品です。変寝夢氏の「縦シリンダー盤」では出発点や着地点が可成領域でなくても、可成領域を通過しただけで成れる「通過成」が可能な設定になっています。

**71-6** は 2 種類のホッパーを使った作品。グラスホッパーがクィーンの利きの方向に 1 枚駒を跳び越えるのに対し、ナイトライダーホッパー (NightRider Hopper) はナイトライダーの利きの方向で 1 枚駒を跳び越えます。守備駒が強力ですが、2 枚のホッパーの個性をうまく活かして詰上り型を作ってください。

**71-7** はグラスホッパーを使った天竺詰。「最善詰」となっていますが、おそらく手数を余分に使うことができたとしても、作意以外の詰め方はないと思います。天竺ルールでは桂香のような弱い駒は、玉を弱められるので、むしろ最強クラスの駒なのですが、はたしてグラスホッパーはどうでしょうか？

**71-8** と **71-9** は「ボカスカ」ルールの登場。これは「同種の駒が一斉に動く」というルールで、詰パラだけを読んでいる読者には馴染みが薄いかもかもしれませんが、「将棋パズル」誌で流行し、比較的多くの作品が作られています。長手数の作品も多いのですが、ここでは短手数の作品を紹介します。

[参考] 中島和男作

(Online Fairy Mate、1997 年 7 月 16 日)

ボカスカ打歩詰 7 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					馬	歩			三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 飛2

(24,29)飛 18 玉 上 1 飛 17 玉

下 3 飛(26)成 18 玉 19 歩 まで 7 手

まず初手。駒を打つときは同種の駒を一度に打てるので飛を 2 枚とも打ちます。(24,29)飛の表記は飛を 24 と 29 に打ったことを示します。29 に打つのは王手のためですが、24 に打つのはなぜでしょう？

それが分かるのが 3 手目。「上 1 飛」は飛が一つ上がったという独特の表記ですが、これは 29 飛が 28 に動いて王手すると同時に、24 飛が 23 歩を取ったことを表しています。もし初手に (25,29)飛としていると、歩を取るために飛が 2 つ上がらねばならず、29 飛も 27 飛となり、王手になりません。「同種の駒」であり続けるために 23 飛が成らないのも芸が細かいところです。

逆に 5 手目は一方の飛が成り、もう一方は成らないという手順が出てきます。それが「(26)成」の表記で表されています。23 飛だけが 26 で成ったわけですね。「下 3 飛」は飛が三つ下がったことを意味しますが、本当に三つ下がったのは 23 飛だけで、28 飛は一つしか下がっていません。盤の端や他の駒に邪魔されて動きが制限される場合は、動ける場所まで動いて止まるのが「ボカスカ」のルールです。

何だか難しいルールのように見えるかもしれませんが、習うより慣れろです。変寝夢氏がボカスカルールの過去作を動画でアップロードしてくれているので、ぜひ参考にしてください。

花沢正純氏作「狂人製造機」  
ボカスカ協力自玉詰 1 3 6 手  
[http://www.youtube.com/watch?v=n\\_hx1M-0a3g](http://www.youtube.com/watch?v=n_hx1M-0a3g)

今回のトリとなる **71-10** は Lion と中立駒の取りあわせ。受方の持駒は Lion と中立駒の飛を除いた残り全部、つまり玉以外の標準の駒一式が合駒として使用可能です。持駒の飛が中立駒でなければ 6 手掛かる図ですが、中立駒であることを活かして 2 手短縮してください。

**解答要項**

第 70 回分解答締切: 2015 年 4 月 15 日 (水)

第 71 回分解答締切: 2015 年 5 月 15 日 (金)

宛先: janacek789@ybb.ne.jp

(メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

**作品投稿について**

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じ janacek789@ybb.ne.jp へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れて

ください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

**ルール説明**

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfpr2015.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

**【協力詰】**

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

**【キルケ】**

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 成駒は生駒になって戻る。
- 2) 戻り位置が埋まっていたり、二歩や行き所の無い駒になったりする場合は戻れない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香(成駒も含む)が5筋で取られ、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。

**【打歩】**

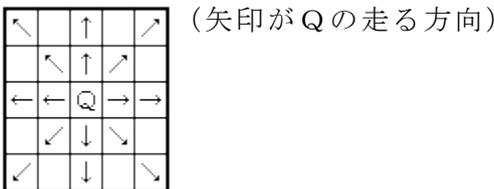
打歩詰以外の詰を禁じる。

**【クイーン王】**

玉がクイーンのパワーになる。

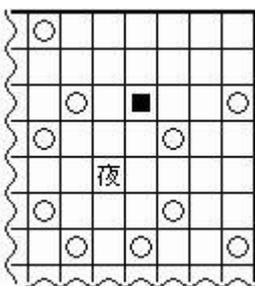
**【クイーン】(Q)**

チェスのクイーン。飛車と角を合わせた性能を持つ。



**【ナイトライダー】(夜)**

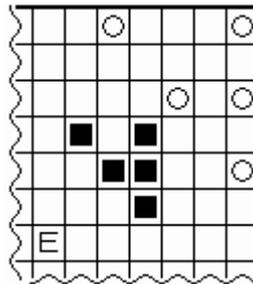
フェアリーチェスのナイトライダー。ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

**【Non-Stop Equihopper】(E)**

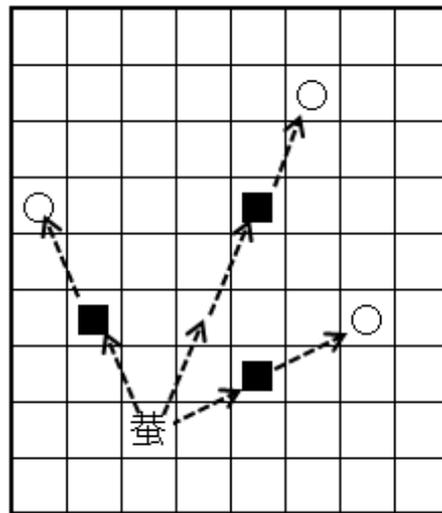
盤上の任意の駒を中心に現位置から点対称の位置に着地する。着地点に敵の駒があれば取れる。現位置と着地点を結ぶ線上に余計な駒が挟まっても跳べる。



(○がEの利き。■は敵または味方の駒。)

**【NightRider Hopper】(蜚)**

ナイトライダーの線上で、ある駒を1つ飛び越した次の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。細則はグラスホッパーと同様。

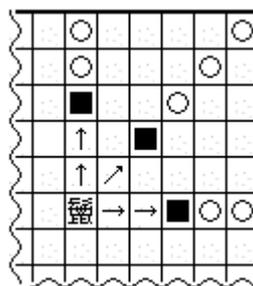


(○が蜚の利き。■は敵または味方の駒。)

**【Lion】(鬘)**

フェアリーチェスの Lion。

クイーンの利きの方向にある駒を1つ跳び越えその先の任意のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。



(○が鬘の利き。■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。)

**【協力自玉詰】**

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

**【対面】**

敵駒と向かい合わせになったとき、互いに利

きが入れ替わる。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【中立駒】（「」あるいは「n駒」）

どちらの手番でも動かせる駒。  
横向きの字か横に n を付加して表記。

（補足）

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる（利きが非対称な駒の場合に要注意）
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。  
→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」の記事を参照してください。

【連続詰】

攻方が連続して指して最短手数で受方の玉を詰める。ただし、詰むとき以外に王手を掛けてはいけない。

【縦シリンダー盤】

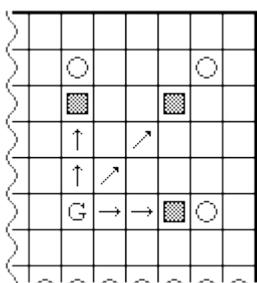
一段目と九段目の同じ筋同士が繋がった盤。

【通過成可】

元位置や移動先が可成地点でなくても、可成地点を通過するだけで成れる。

【グラスホッパー】（G）

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



（○がGの利き）

【天竺】

玉（王）の利きが王手をした駒の利きになる。

【最善詰】

攻方は受方がなるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。

（補足）

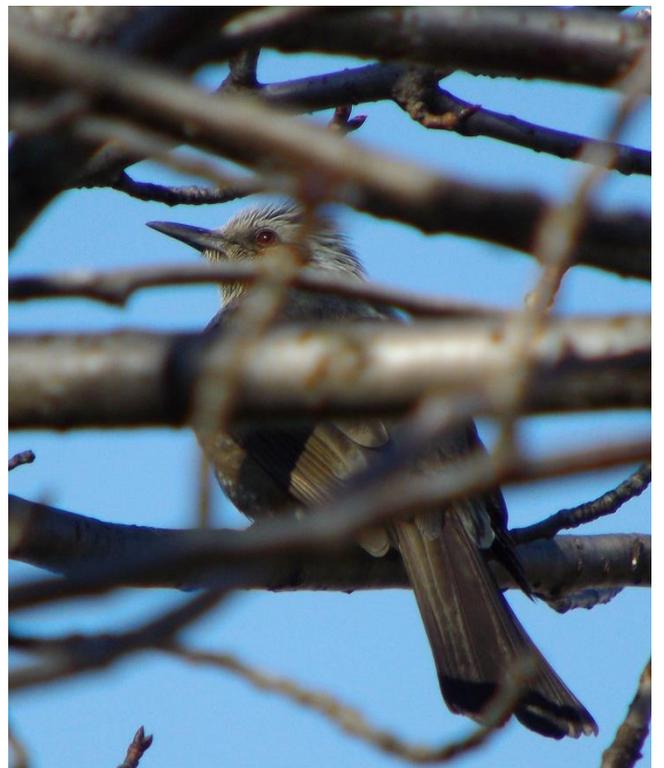
いわゆる普通の詰将棋から枝葉（無駄合概念や、駒が余るかどうかで手順に優劣を付ける規則）を取り除き、攻方最短を義務化したもの。攻方最短・受方最長のみが正解で、長手数数の余詰は不問。

【ボカスカ】

盤上にある味方の同じ種類の駒は、すべて同時に同一方向に動かす。

（補足）

- ・成駒と生駒は別種とみなす
- ・動かさない駒があれば動かせるだけ動かす。
- ・成・不成は1枚毎に自由。持駒も同じ種類の駒はすべて同時に打つ。
- ・歩だけは例外で打つのも動くのも単独。
- ・棋譜の書き方は、右上銀、下2飛（飛を2つ引く）等と書くことにする。成りを指定するときは、上3香(23,33)成、等と書く。（これはすべての香車が3マス走って 23 と 33 に来た2枚だけが成った、の意味）打つときは、(23,33,24,34)桂、のように書く。1枚だけ動く、または打つときは、一般的な記法(32金など)で書く。



《第70回 WFP 作品展》(再掲)  
 解答締切：2015年4月15日(水)

■ 70-1 占魚亭氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								角
						科		
					龍	王	科	
					ス			桂
							角	
							香	

持駒 なし

■ 70-2 上谷直希氏作

キルケ打歩協力詰 17手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 銀

■ 70-3 上谷直希氏作

クイーン王協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 角

■ 70-4 変寝夢氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								角
						科		
							角	
						夜		
						歩		

攻方持駒 なし  
 受方持駒 なし  
 ※夜：ナイトライダー

■ 70-5 変寝夢氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 E  
 ※E：Non-Stop Equihopper

■ 70-6 変寝夢氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 桂香蝿  
 ※蝿：NightRider-Hopper

■ 70-7 変寝夢氏作

対面協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				王				
					歩			
						王		

持駒 鬣

※鬣：Lion

■ 70-8 変寝夢氏作

安南協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
	王						王	

持駒 飛鬣

※鬣：Lion

■ 70-9 変寝夢氏作

対面打歩協力自玉詰 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				王				
							王	

持駒 G3

※G：グラスホッパー

■ 70-10 変寝夢氏作

協力自玉詰 4手 ※2解

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
								王

持駒 n桂 nQ

※Q：クイーン、持駒桂Qは共に中立駒



《第71回 WFP 作品展》

解答締切：2015年5月15日（金）

■ 71-1 上谷直希氏作

協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
							王	四
								五
							王	六
								七
								八
								九

攻方持駒 飛2

受方持駒 残り全部

※a)本図

b)後手が先手を詰ます (駒余り可)

■ 71-2 上谷直希氏作

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
							王	五
								六
							馬	七
							龍	八
							歩	九

持駒 桂歩

■ 71-3 上谷直希氏作

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
							飛	六
							王	七
								八
							桂	九
							香	九
							龍	九

持駒 なし

■ 71-4 変寝夢氏作

連続詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
							王	三
								四
							香	五
							銀	五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

■ 71-5 変寝夢氏作

縦シリンダー盤協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
							王	四
								五
								六
							馬	七
							桂	七
								八
								九

持駒 角2

※通過成可

■ 71-6 変寝夢氏作

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 蝨 G

※G：グラスホッパー

蝨：NightRider Hopper

■ 71-7 変寝夢氏作

天竺最善詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							料	王
							糸	

持駒 桂香G  
※G：グラスホッパー

■ 71-8 変寝夢氏作

ボカスカ協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	
							鬣	

持駒 桂2

■ 71-9 変寝夢氏作

ボカスカ協力自玉詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				皇				
		皇						
	皇							王
			王				皇	

持駒 香

■ 71-10 変寝夢氏作

協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				王				王

持駒 n飛  
※鬣：Lion、持駒の飛は中立駒

以上

「第 42 回神無一族の氾濫」作品募集

「第 42 回神無一族の氾濫」へのゲスト参加を募ります。

今回の募集テーマは「『詰』以外の目的を達成する作品」です。「ステイルメイト」や「千日手」など、「詰」以外の目的を達成するための手順を求めるルール作品をお寄せください。募集作品数は4題です。

ただし1題のみは「ばか詰枠」として通常のばか詰（協力詰）を募集します。こちらへの応募もお待ちしています。

募集締切	2015年4月20日(月)
募集作品数	4 + 1 (ばか詰枠)
送り先	E-mailで神無七郎(janacek789@ybb.ne.jp)宛にお送りください。
備考	1人何作でも投稿可。 メールの件名に「作品投稿」の語を入れてください。 採否は4月26日までに通知します。

## 推理将棋第 8 7 回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第 8 7 回出題です。はじめての方は「どんな将棋だったの？」 - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで 2015 年 3 月 20 日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メール の 題名 は「推理将棋第 8 7 回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で 1 名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1 題でも解けたらぜひご解答ください。

今月はチャンプさんの連作で、「美野樫 9 兄妹」シリーズからの出題です。

3 年前の第 5 2 回出題チャンプさん作「オウム返し」シリーズではユニークなキャラクターの将ちゃん・ピーちゃんコンビが登場しましたが、今回は大家族、美野樫家の 5 兄弟 4 姉妹が登場し町の将棋大会に出場します。そして、兄妹の名前につく漢数字の筋に着手する美野樫家ルールで将棋を指していきます。チームワークで戦う美野樫兄妹の活躍は如何に？

以下の特集を企画したいので 8 手詰、9 手詰のご投稿をお待ちいたします。

第 8 8 回：8 手詰特集→3 月下旬出題

第 9 0 回：9 手詰「難易度ゼロの易問」特集→5 月下旬出題

第 9 1 回：9 手詰 1 条件特集→6 月下旬出題

### ■本出題

#### 8 7-1 初級 チャンプさん作

##### 美野樫 9 兄妹の一局(その 1) 7 手

7 手詰手順は全 2 9 通り。基本手順を推理しよう。

#### 8 7-2 中級 チャンプさん作

##### 美野樫 9 兄妹の一局(その 2) 9 手

王手は 3 回。初王手と 2 回目の王手を推理しよう。

#### 8 7-3 上級 チャンプさん&DD++さん作

##### 美野樫 9 兄妹の一局(その 3) 10 手

詰みに有効な 1 筋の着手を推理しよう。

「美野樫 9 兄妹」シリーズ

※美野樫家の将棋ルール：名前につく漢数字＝着手筋の担当

#### 8 7-1 初級 チャンプさん作

##### 美野樫 9 兄妹の一局(その 1) 7 手

健一「さあ行くぜ、俺たち美野樫 9 兄妹に敵は無い！」

源三「たかが町の将棋大会やろ？そない気張らんでもエエやろ」

隆二「ま、そう言うな、兄貴にとって将棋は絶対なんだよ」

八重「私、本でも読んでるわ」

圭五「まずはオレがスターティングメンバーで行くぜー」

六実「私もやるやる〜！」

四郎「僕も参加しようかな」

七海「少し不安なのでわたくしも・・・」

健一「まだ予選だし 4 人もいれば十分か？」

九美「じゃあウチは応援してるねえー」

六実「私たちの先手に決まったわ〜」

・・・対局開始・・・

健一「おっ、終わったみたいだな」

四郎「たった 7 手で終わったね」

六実「みんな仲良く一手ずつ指せて良かったね〜」

七海「・・・察するに 4 手目の歩の手が疑問かと」

圭五「このまま優勝まで一直線だぜー！」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・7 手で詰んだ

・先手は 4、5、6、7 の筋に一手ずつ着手した(順不同)

・4 手目は歩の着手

-----  
87-2 中級 チャンプさん作  
美野樫9兄妹の一局(その2) 9手

九美「すぐに2戦目が始まるみたいだよおー？」  
健一「隆二、次行くか？」  
隆二「いや、俺は本戦に入ってからでいいぜ」

源三「ほな、いっちょやったるか」  
圭五「あんな試合じゃ体も温まらねえー、連戦だー！」  
六実「同感〜！ 私たちもまだまだ行くわよ〜」  
七海「たち？ですか・・・ではわたくしも・・・」  
四郎「ははは、じゃあ僕もやろうかな」

圭五「よっしゃー、またオレ達の先手だぜー！」

・・・対局開始・・・

八重「どうやら終わったようね」

七海「やりました、9手で勝ちの模様です」  
四郎「最後の飛打ちが3回目の王手だったね」  
圭五「また全員一手ずつ指しての完全勝利だぜー！」  
源三「なんや余裕やったな」  
六実「これで2連勝！次勝てば予選突破よ〜」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・先手は3、4、5、6、7の筋に一手ずつ着手した(順不同)
- ・最終手の飛打ちが3回目の王手

-----  
87-3 上級 チャンプさん&DD++さん作  
美野樫9兄妹の一局(その3) 10手

健一「みんな調子いいみたいだな」  
健一「じゃあ次のメンバーは俺が決めるぜ？」

健一「俺・源三・四郎・六実・七海でどうだ？」  
一同「了解ー」  
圭五「ちえー！今度はベンチ入りかよー」  
九美「健にいが言うなら仕方ないねえー」  
八重「・・・」

源三「今度はわたしが後手やな」

・・・対局開始・・・

隆二「早速終わったみたいだぜ」

源三「10手で勝ったでー」  
四郎「またみんな一手ずつ指して勝てたね」  
六実「そうそう、不成が2回もあったわ〜」  
七海「・・・察するに3手目の玉の手が緩手かと」  
健一「これで予選突破！やっぱ俺たち無敵！」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・後手は1、3、4、6、7の筋に一手ずつ着手した(順不同)
- ・不成が2回あった
- ・3手目は玉の着手

## 推理将棋第 88 回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第 88 回出題です。はじめての方は どの将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで 2015 年 4 月 20 日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メール の題名は「推理将棋第 88 回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で 1 名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1 題でも解けたらぜひご解答ください。

今月は 88 回に因んで 8 手詰特集です。例月よりもやさしい初級問題が並んでいますので奮って解答ください。

以下の特集を企画しております。ご投稿よろしくお願ひします。

第 90 回：9 手詰「難易度ゼロの易問」特集→5 月下旬出題

第 91 回：9 手詰 1 条件特集→6 月下旬出題

第 94 回：9 4 問題特集→9 月下旬出題

### ■ 本出題

#### 88-1 初級 孔明さん作

初めと終わりは同じ場所 8 手

8 手目の止めの一手の場所を推理しよう。

#### 88-2 初級 渡辺秀行さん作

壁の向うの将棋 8 手

角が不成で飛び込む形を推理しよう。

#### 88-3 初級 はなさかしろうさん作

無理なご乗車はなさらずに 8 手

銀が割り込む両隣の駒を推理しよう。

■ 締め切り前ヒント (4 月 13 日頃コメント欄に掲載予定 NAO)

#### 88-1 初級 孔明さん作

初めと終わりは同じ場所 8 手

「たったの 8 手で詰まされちゃった。止めは初手と同じ場所棋譜上同じ表記の手を指されたよ」

「ずいぶん、短い将棋だね」

「そういえば端の手も成る手もなかったなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・8 手で詰んだ

・初手と最終手は同じ地点への棋譜上同じ表記の着手

・端の手はなかった

・成る手はなかった

#### 88-2 初級 渡辺秀行さん作

壁の向うの将棋 8 手

壁の向うから将棋を指している声が聞こえてきます。

「初手から中飛車と来ますか」

....しばらくして

「そんなことすると、この 22 の角で同角生と取るぞ。ほれ、8 手で詰みだ」

さて壁の向うではどんな将棋が指されていたのでしょうか？

(条件)

・8 手で詰んだ

・初手 5 8 飛

・最終手は 2 2 の角を動かして同角不成と指した

#### 88-3 初級 はなさかしろうさん作

無理なご乗車はなさらずに 8 手

「8 手で詰みました」

「7 手目に味方同士の間隙に銀を割り込ませたのが敗着だったね」

「正確に言うと『7 手目は隣接する左右両方に先手の駒がいる地点に初めての銀の手を指した』です」

「まあそういうこと。平たく言えば『発車間際の無理なご乗車はなさらないようお願いします』ってところかなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・8 手で詰んだ

・7 手目は隣接する左右両方に先手の駒がいる地点に初めての銀の手を指した

### 強欲な世界 パート3

先月に続いて在庫処分という感じが匂いしますが強欲ばか詰5作放出します。一応難易度順です。解答よろしくお願ひします。解答は最終手のみでも kif ファイル添付でも可。

**【強欲】**

攻方受方とも、駒を取る王手および駒を取る応手がある場合はその手を優先する。ない場合は任意の着手が可能。

**【ばか詰】**

双方協力して最短手数で受方玉を詰める。

(解答先)

→たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

1番 強欲協力詰 81手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	と	歩	歩	歩	歩	王				
二	歩	と		歩				歩		
三			桂		銀	香				
四								歩		
五	科				銀	と	桂	と		
六	金			銀	歩	歩		と	香	
七		歩			桂		香	香		
八			歩	金		香	角			
九						歩	香	飛		

持駒 なし

2番 強欲協力詰 75手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一			と		王					
二		と				入				
三	と		香		入		金		銀	
四		桂		入		金		香	歩	
五	歩			歩	歩	銀	科	銀	香	
六		歩	角	歩	金		歩	歩		
七	桂	香	金			歩		歩		
八	龍		歩		歩		香	香	飛	
九								桂		

持駒 なし

3番 強欲協力詰 87手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二	香	歩	と			と		香	歩	
三	と	香	と		香	入	角	飛	銀	
四			と	科	金		金			
五				歩	入		歩		香	
六		桂	歩	香		桂			金	
七		香		と						
八	桂	入	銀	龍	歩				香	
九				銀				角	王	

持駒 なし

4番 強欲協力詰 74手 (受先)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一		馬								
二		歩	歩							
三	金		桂	歩	歩	歩	歩	銀	角	
四	金					銀		飛		
五	香	香	王				科	香		
六		香	香	と	と				銀	
七	歩		入				香			
八	手	香	香				と		香	
九		と	と	桂	と	と		香	飛	

持駒 なし

5番 強欲協力詰 75手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	飛	馬						香	と	
二								銀		
三		桂								
四	歩	香	桂	入		香			飛	
五				と	香	入		歩		
六	金		と		科		金		と	
七		歩		香	香	馬	香			
八		香	歩	香	歩		歩	桂	と	
九			香	歩	入	歩	王	香		

持駒 なし

# 第69回WFP作品展結果 担当：神無七郎

第69回WFP作品展の結果を報告します。解答者は全9名。以下に今月の解答成績をまとめます。**69-4**はツインなので2点でカウントしています。

## 〔第69回WFP作品展成績〕(敬称略)

○：正解 -：無解

解答者名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	○	-	9
真T	○	○	-	○	○	○	○	○	○	9
変寝夢	○	○	-	○	○	○	○	○	-	8
詰ガエル	○	○	-	○	○	-	○	○	-	7
DD++	○	○	-	○	-	-	-	○	-	5
一乗谷酔象	○	○	-	○	-	-	-	-	○	5
占魚亭	○	○	-	○	-	-	-	-	-	4
やよい	○	○	-	-	-	-	-	-	-	2
館長	○	○	-	-	-	-	-	-	-	2

予想通り**69-3**と**69-9**が難問で無解者続出となりましたが、解答者ゼロを回避できたのは幸いでした。また、**69-1**と**69-2**は全員正解を達成。この2作の解答増への貢献は大きいですね。新しい方や久々の方が解答を出しやすくなったと思います。

### ■ 69-1 上谷直希氏作 (正解9名)

#### 協力詰2手 ※受先

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七	飛									玉
八										
九										王

攻方持駒なし  
受方持駒香4

#### 【ルール】

- 協力詰  
先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。
- 受先  
受方から指し始める。

#### 【解答】

18香 99飛 まで2手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七										玉
八										皇
九	飛									王

攻方持駒なし  
受方持駒香3

#### 【作者のコメント】

偶数手ばか詰での初手が必ずしも詰に向かったの補助になるとは限らないということを伝えたかった作。同様の狙いの作は以前にあったと思いますが、本作では後手の持駒の量的枯渇と手順は無関係ということが最大の主張です。

ただ狙いがそこにあるからこそ、一切の持駒制限なしで表現してみたかったですね。実現はかなり難しそう。

#### 【解説】

受先形式の出題では、初手をフリーに指せるので、それをどう使うかが最大の焦点となります。普通の作品では、初手を後々の手順を見据えた伏線に使うことが多いのですが、本局ではよりもよって「実質1手パス」に貴重な初手を費やしてしまいます。受方曰く「後手番最高や！手番なんて最初からいらなかったんや！」。

本局は通常通り攻方から指せれば、初手**99飛**の**1手詰**。つまり、受方は可能なら何も指さないのが最善となるのですが、作意の**18香**以外の着手はすべて、この**1手詰**の邪魔になってしまいます。香を**11~16**に打つのは王手。香を**9筋**に打つと飛の邪魔。2筋から8筋に打つては最終手に対して香成の受けが生じてしまいます。香の打ち場所は**70箇所**もありますが、たった一箇所が正解というのは面白いですね。

受方香の駒数は何枚でも良いですが、複数枚にすることで1手パスをより強調しています。

#### 【短評】

**変寝夢**さん

秘技一手パスですか。  
持ち駒を飛1枚にすると・・・、つまらないですね。

**占魚亭**さん

ツークツワンク？  
昔、山田康平さんの必死問題（『将棋世界』の「創作次の一手」発表）で見たことがありますが、フェアリーでは初めて見ました。

☆ツークツワンクは対抗系ルールでの概念だと思うのですが、「パスした方がまし」という意味では共通するものがありますね。

**真工**さん

邪魔にならないのは18だけ。なるほど。

**詰ガエル**さん

余計なことをせずに済む場所が18だけという状況を盤面三枚で実現しているのが凄い。

**一乗谷酔象**さん

唯一の1手パス。

**やよい**さん

「広い盤面なのに受方駒の打ち場所が1箇所しか無い」、解くのは簡単ですが作図は結構難しいかも知れませんね。

**たくぼん**さん

18しかないのがユーモラス。

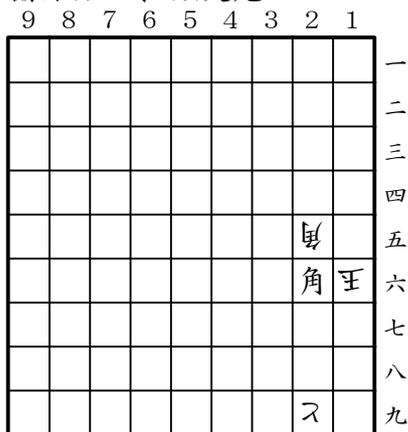
**DD++**さん

指す手はなんでもよいのだが、実は邪魔にならない手がここしかない。  
推理将棋の遊び手消化でよく使われる技法ですが別の場所で見ると新鮮ですね。



■ 69-2 上谷直希氏作（正解9名）

協力詰6手 ※受先

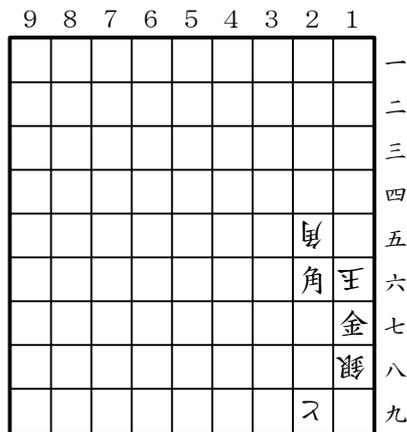


持駒 香

【解答】

27 銀 19 香 18 金 同香 同銀生 17 金 まで 6 手

(詰上り)



持駒 なし

【作者のコメント】

何故駒を取るのか？という狙いを実現できて満足。2枚角は仕方のないところ。

なかなか効率のよい駒配置だと思います。

実は結構お気に入り。

【解説】

前局が「実質的1手パス」なら本局は「実質的持駒変換」。攻方の手番で持駒の香が金ならば、17金までの1手詰。従って、香で金の合駒を稼ぐわけですが、駒交換の影響は最小限に抑えなければいけません。19香 18金 同香 27玉…などのように玉が動く展開は最悪なのです。

本局の初手 27 銀は 19 香 18 金 同香に対して「同銀生」の応手を用意した伏線手。18香を除去し、なおかつ 17 金の邪魔にならない唯一の手です。

初形に2枚角を配置しているのは、初手27角の非限定を防ぐため。25角・29との配置に代えて、25歩・29馬などでも良いと思いますが、いずれにしても角を品切れにしないと、簡単にこの非限定は消せません。手順自体はやや既視感がありますが、簡素な配置で上手く狙いを成立させていると思います。

【短評】

変寝夢さん

これだと受先にする意味がどうなんだろう。いっそ18銀と置いちゃえば・・・、すみませんでした。

☆18銀配置だと余詰防止が大変ですね。そのために受方持駒制限をしては本末転倒ですし。本局の配置は最善に近いと思います。

占魚亭さん

欲しい駒はすぐに出さない。

真Tさん

角は品切れで限定を上手いと取るかどうか。

やよいさん

とにかく金合から頭金だろうと考え、初手はすぐ判りました。

たくぼんさん

金を取った香を何で取るのかがちょっとした謎でしたね。

DD++さん

深読みして初手36角から読んだらハズレでした。残念。

☆真TさんとDD++さんの短評には本局の主題を改良・展開するためのヒントが含まれていますね。銀の発生が割と見え易いので、ここをうまくカモフラージュする手段があると、もっと意外性が増すと思います。



■ 69-3 上谷直希氏作 (正解1名!)

Andernach協力自玉詰62手

										一
										二
										三
										四
										五
			科							六
					王					七
								銀		八
		金	歩	馬	王					九

持駒 角金2銀

【ルール】

•協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

•Andernach

駒取りを行った駒(玉を除く)は、その場で相手の駒となる。

【解答】

94角 67銀\*1 58銀 同銀成転 59全転 58全  
 48金 59玉 95角 68全 58金 49玉  
 68金寄転 67金 58銀\*2 同金転\*3 68金寄 67銀  
 48金 59玉 67金転 68銀 58金 49玉  
 59金 同銀生転 58銀 同金転\*4 68金寄 59玉  
 57金 68飛 58金 49玉 68金寄転 59玉  
 58飛 49玉 68飛転 67桂\*5 58銀 同飛生転  
 59金 同桂生転 68飛 59玉 67飛 49玉  
 77飛 59玉 76飛 49玉 86飛 59玉  
 85飛 49玉 45飛 67銀 57王 38玉  
 83角成 56金 まで 62手

(詰上り)

										一
										二
		馬								三
										四
	角				飛					五
			科	馬						六
			馬	王						七
						王	銀			八
		金	歩							九

持駒 なし

【作者のコメント及び注釈】

手を加えるほど手数が増える素材が舞い込んでくれました。持駒変換などの種々の要素は、「盛り込んだ」というより「入ってくださった」というほうが正確な表現です。

それにしてもこの飛車の転回は絶対どこかで見た気がする。

不満はいかにもキーですよ、というような顔をしている△66桂配置。実際はただの非限定消しで(9手目角打ちを限定にするための遠因)、そういう駒は作意の主戦場には利きを伸ばさないうで欲しいです。余詰のせいで歩に替えられないのがつらい。

- ・※2で銀を使用するため、※1では銀合をすることになる。回収までにタイムラグがあるのがAndernachらしいですかね。
- ・※3の局面と※4の局面は同一だが、攻方の持駒の金が銀にすり替わっている。持駒変換。
- ・※5収束では飛を45に振って、玉移動をさせたい。そのためには飛を入手し、飛ノコをしたいのだが、では飛を入手した瞬間に収束に入ることができるかということ、そう簡単ではない。Andernachで駒を入手するためには開き王手しか方法はないところ、開き王手で飛を入手した瞬間、飛を取った駒は転じて後手側の駒になる。このままではその駒が邪魔で飛ノコは不可能。つまり飛を2枚角の軌道上に置いた時点で、その軌道を邪魔する駒は排除されていなくてはならない。では玉方の飛の間駒を「転」させればいいのかではないだろうか。しかし今までの金や銀の場合とは異なり、飛車では角でピンされたまま「転」することはできず、他の駒が間に入って手助けすることが必須になるわけである。そこで白羽の矢が立つのが桂馬。桂馬ならば飛ノコの邪魔にならない59地点に飛び込むことができる。※5の77桂の瞬間に、金と銀が一枚ずつ持駒にいななければならないため、この局面のために手順を尽くすのだ(手順中飛を入手した瞬間にまた手放すという不可解なことが起こるのも、そこに「盤上からの金の回収」という意義があるからである。二度現れる68飛の瞬間を見比べていただきたい)。

【解説】

攻方玉は上ががら空き。受方玉は幽閉されて

行き場なし。ぱっと見には自玉を詰める事など不可能に見える形です。しかし不可能を可能に変えるのが詰将棋の醍醐味。正解を見ても一度に理解するのは大変だと思うので、まずは中核となる仕組みから見ていきましょう。

まずは玉の可動範囲を広げるために、59角の消去を考えます。これは「76角 67金 58銀 同金転 59金転…」のような手段で割と容易に実現できます(実際は金合ではなく銀合を使います)。これで玉は二カ所に動けるようになったのですが、当面これ以上可動範囲は広がりません。

次に自玉を動かすことを考えます。王で王手はできませんから、自玉の移動には「開き王手」を使うしかありませんが、相手玉がこんな狭い所に閉じ込められた状態で、開き王手の形を作ることができるのでしょうか？

実はそれを可能にする優れた機構があります。遠打と飛鋸を組み合わせて、飛を自玉の影に回す手順です。下図をご覧ください。

[参考] 小野小町作「小匣」(作意 29手。早詰。詰将棋パラダイス 1989年9月)

打歩ばか詰 25手

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 角

44角 55角 同角 89玉 34角 45飛  
 同角 78歩 88飛 99玉 78飛 89玉  
 77飛 99玉 67飛 89玉 66飛 99玉  
 56飛 89玉 86飛 78飛 96王 98玉  
 99歩 まで 25手

作者が「この飛車の転回は絶対どこかで見た」と言っているのは、きっとこの作品のことでしょう。でも、この作品を知っていても本局は半分も解けません。上図では冒頭9手であっさり舞台の設営が完了しますが、本局はそんなに簡単には飛鋸の形を作れないのです。この摩訶不思議な手順については作者自身が詳しいコメントをしてくれているので、ここはアウトライン

だけ説明しましょう。

手順の概略は

1. 94 角の設置
2. 59 角の入手
3. 95 角の設置
4. 飛合の発生
5. 飛の入手
6. 飛鋸
7. 飛を4筋に転回
8. 自玉を動かして開き王手
9. 収束

という流れになります。中でも困難なのが「3. 95 角の設置」～「4. 飛合の発生」～「5. 飛の入手」に至る手順です。飛を取るだけなら簡単なのですが、そのために使った駒が飛鋸の軌道を邪魔してはいけなからです。ここで軌道から外れることのできる桂合を思いつくのは容易なことではありません。

また、「5. 飛の入手」を行うためには桂合を思いつくだけでは不十分で、持駒に金と銀の両方を揃えておかななくてはなりません。その準備に大変な手間が掛かるのです。Andernach では持駒変換は一筋縄ではいきません。合駒を直接取る手は王手にならないので、開き王手を使って別の駒で掠め取るようにしないと駒台に載せられないのです。そのため、持駒の確保は一苦労なのです。

「6. 飛鋸」からは流れるように手順が進みますが、攻方が最後に 83 角成と、成りの限定で締めるのが鮮やかな幕切れ。もちろん「不成」では最終手 56 金に対して「同角不成転」と受ける手が生じて不詰です。最後まで Andernach の効果が活用される緩みのない構成です。

【短評】

占魚亭さん (※無解)

気合いを入れて手を付けたのですが、力尽きました。

真Tさん (※無解)

詰上りが見えません。

たくぼんさん

あれこれ動かし遠角から飛鋸して飛を4筋に回る手順かなと気づきゴールに近づいたかと思いきやそこからが長かった。

なかなか飛鋸の形に入れず、金→銀の持駒変換?や桂合と考えどころ満載。

当初は 66 桂を消去して 46 飛と回る順を読んだが 62 手では無理。それだと角の打ち場所が非限定となるのに気づいて何とかいけました。83 角成限定の収束もルール特有の意味づけでお見事としかいいようがない。

☆多くの解答者が力尽きる中、根性でゴールにたどり着いたたくぼんさんもお見事です。作者が残念がっていた 66 桂の配置ですが(これがないと6段目で飛を回る時に近道が可能な上、95 角を 86 角とする非限定も生じてしまう)、66 桂消去の紛れを考えて貰えるなら、一定の存在意義はあったと思います。

■ 69-4 変寝夢氏作 (正解7名)

a) 協力自玉スタイルメイト6手

									王	一
										二
										三
							○			四
								王		五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 飛3  
受方持駒 角2金4銀4桂4香4歩18  
※34Qはカメレオン駒

b) 協力自玉スタイルメイト6手

									王	一
										二
										三
							○			四
								王		五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 飛3  
受方持駒 角2金4銀4桂4香4歩18  
※34騎はカメレオン駒

【ルール】

- カメレオン (cX)

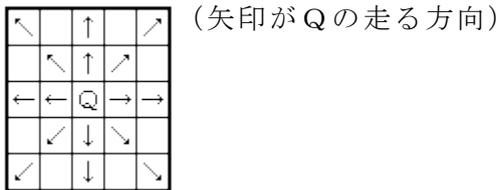
1 手指すごとに駒の種類がサイクリックに入れ替わる。変化の順序は  
**Q** (クイーン) → **S** (騎) → **B** (角) → **R** (飛) → **Q** → (以下繰り返し…)

(補足)

- 取られたときはその状態で相手の持駒となりその状態で打つことができる。
- 通常は駒種 **QSBR** の横に **c** を付記して表記する。今回の出題では図面作成の都合上、注釈で表記した。

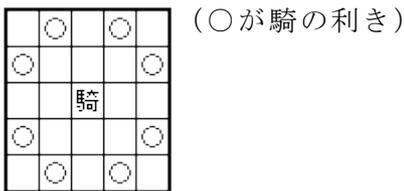
• **クイーン (Q)**

チェスのクイーン。飛車と角を合わせた性能を持つ。



• **ナイト (騎)**

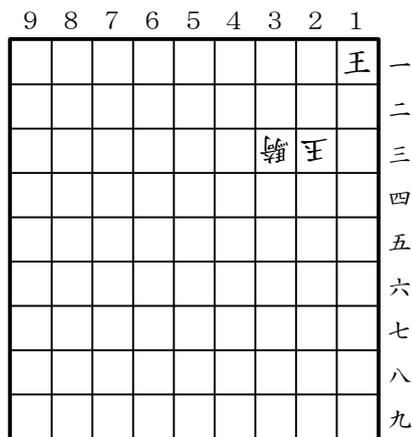
ナイトはチェスの駒。八方桂。



【解答】

a) 24 飛 同玉 23 飛 同玉 33 飛 同 cQ=c 騎  
 まで 6 手

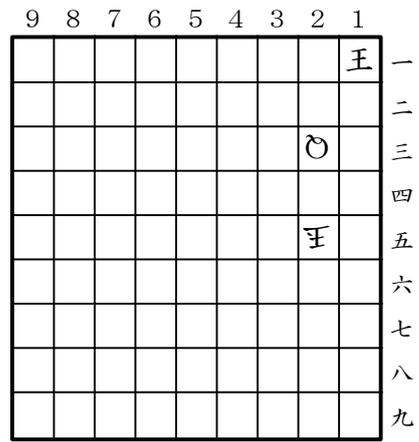
(詰上り)



攻方持駒 なし  
 受方持駒 飛3角2金4銀4桂4香4歩18  
 ※33騎はカメレオン駒

b) 55 飛 同 c 騎=cB 22 飛 同 cB=cR  
 23 飛 同 cR=cQ まで 6 手

(詰上り)



攻方持駒 なし  
 受方持駒 飛3角2金4銀4桂4香4歩18  
 ※23Qはカメレオン駒

【解説】

カメレオンの七変化ならぬ四変化。  
 チェスではポーンが4種の駒に成れるのですが、「4」という数は一種のマジックナンバーなのですが、カメレオンは4つの変身をいとも簡単に成し遂げることができます。

本局はわずか6手で、その4種が総登場するb)が主で、a)は同じ舞台装置を利用したオマケ…のはずなのですが、解答者にとってはa)の方が難解でした。カメレオンが主役という意識の裏をかかれた、ということもありますが、足の速いカメレオンに気を取られ、鈍足の「玉」を活用する手順を読む気にならなかったのも原因の一つだと思います。図らずも、一種の心理作になった感がありますね。

【短評】

占魚亭さん

- a)cQ が動くのは最後だけ。全応手カメレオン駒に捕らわれていて苦戦しました。
- b) Q に変身させて 12・21・22 の 3 地点を押しさえるわけですね。a より先に解けました。

真Tさん

カメレオンはなかなか考えにくい駒ですね。

一乗谷酔象さん

S の前後が戸惑う。

たくぼんさん

a)カメレオンのように変化する順ばかり読んでたので逆に意表を突かれる順でした。

b)やはりこちらがルールからして王道の順ですよね。

**DD++**さん

a)前座 a に苦戦し、先に真打 b がすんなり解け、しかし戻っても前座 a はすぐ解けず。そうか玉が動くのか……。

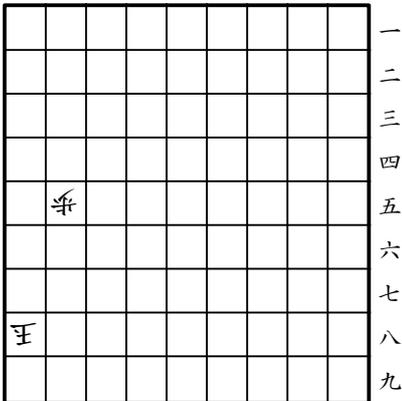
b)合駒を取らせて逆王手を近づける珍しい手順。普通詰将棋やただの協力詰だと大掛かりになりそうですが、フェアリー駒なら簡素な配置でいけるわけですね。

☆凝った配置や手順でないと実現できないはずの構想が、フェアリー駒を巧く使うと簡単にできてしまうのは面白いですね。ただ、チェスならともかく、将棋では **QSB**R という変化に論理的必然性はありません。詰将棋でこの種の駒を使う場合、フェアリーチェスのカメレオンをそのまま使うより、カメレオンを一般化して、駒の種類や順番を自由に定義できるようにした方が、興味を持つ人が増えるのではないかと思います。

■ **69-5** 変寝夢氏作 (正解 4 名)

背面協力詰 5 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 角夜

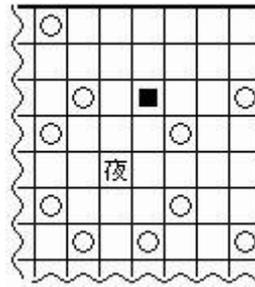
受方持駒 なし

※夜：ナイトライダー

【ルール】

• **ナイトライダー (夜)**

フェアリーチェスのナイトライダー。ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

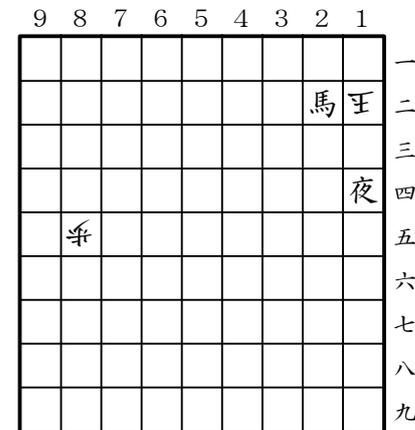
• **背面**

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

【解答】

14 夜 89 玉 88 角 12 玉 22 角成 まで 5 手

(詰上り)



攻方持駒なし

受方持駒なし

【作者のコメント】

85 歩が残念だが、大きく表現しているつもり。

【解説】

遠打と大跳躍による、まさかの場外決着。

角もナイトライダーも玉を詰めるには適さないなので、馬を作ってナイトライダーで支える構図を作りたいわけですが、85 歩の存在により初手から「74 夜 97 玉 53 角 96 玉 86 角成 まで 5 手」のような平凡な手で詰む手順は防がれています。そこで邪魔物のない場所に移動するわけですが、近くに良い場所はありません。角とナイトライダーの利きが交差するような場所を選ぶと、適地は初期位置から 55 を中心とした点対称の位置である 12 となり、そこへ舞台を移すため、ナイトライダーの遠打と、「背面」を利用した玉の大ジャンプを行います。85 歩配

置を作者は残念がっていますが、この配置のおかげで、枠外へ飛び出すような作意手順が一層意外なものになっています。

むしろ残念なのは、受方の持駒制限と、背面ルールの影が薄いところ。最終手に対し 23 に駒を打って受けられないための持駒制限ですが、背面の「活用」ではなく、「抑制」が必要な素材を選んだことに疑問を感じます。

【短評】

占魚亭さん（※無解）

ギブアップです。

初手に 7 四夜だと 8 六歩で逃れ？

真工さん

玉の大移動は面白いですが、2 回を期待してしまいました。

☆筆者も同じような物足りなさを感じました。  
できれば詰上りにも「背面」の効果が欲しいところでは。

たくぼんさん

この玉が 12 で詰むとはびっくりですね。

■ 69-6 変寝夢氏作（正解 3 名）

協力自玉詰 6 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
							飛		二
									三
									四
						馬			五
									六
									七
							金		八
									九

持駒 香2

※45玉は中立駒

【ルール】

- 中立駒（「 $\text{⌚}$ 」あるいは「n 駒」）  
どちらの手番でも動かせる駒。  
横向きの字か横に n を付加して表記。

【解答】

46 香 56n 玉 59 香 58 飛 47n 玉 38 飛上成  
まで 6 手

（詰上り）

										9 8 7 6 5 4 3 2 1
										一
										二
										三
										四
							香			五
							馬			六
						飛		馬		七
							香			八
										九

持駒 なし

【作者のコメント】

初手に打った香が、壁になっている。

【解説】

「香は下段に打て」の逆を行く香短打は詰将棋の華ですが、フェアリーにおいても香の短打は妙手になります。特に、早く合駒を出したくてしょうがない本局の構図では、敢えて合駒を出さない香短打で 2 手を消費する冒頭の手順には、強い心理的抵抗があるでしょう。

合駒が足りないのを補うのが、置き駒の活用です。玉が中立駒の場合、玉自身を攻方駒の利きに移動して王手を掛けることができます。本局では 5 手目 47 玉がそれで、38 金が不動のまま王手を掛けます。おかげで、32 飛を活用することができるわけですね。最終手の 38 飛上成は、何だか自分自身に王手を掛けているようで不安になりますが、中立駒の玉に対する王手はその手番が指し終わった後の局面で判断されるので、セルフチェックではありません。

協力自玉詰において、香を壁駒に使うケースはないわけではありませんが、打った香の裏に自玉が回って壁にする手順は見たことがありません。中立玉という不思議な駒ならではの、珍しい手順です。

【短評】

占魚亭さん（※無解）

詰み形が全く予想できません。

真工さん

初手 46 香がいい味。

詰ガエルさん（※無解）

色々と考えたのですが、全く詰み筋が見えませんでした。この局面からたった6手で王が捕まるとは中々信じられないです。解答発表を楽しみにしています。

**たくぼんさん**

5筋に行くとは裏をかかれました。

☆実は筆者には飛2枚と壁駒1枚によるこの詰形に、特別な思い入れがあります。私が初めて完全作として発表できた作品が、この詰上りの協力詰だったからです。

[参考] 橋本孝治作

(詰将棋パラダイス、1982年7月)

**ばか詰5手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
				王				五
				王				六
								七
								八
								九

持駒 飛2

☆易しいので解答は省略しますが、中段玉を詰めるには便利な形なので、覚えておいて損はないと思います。

■ 69-7 変寝夢氏作 (正解4名)

**協力自玉詰8手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
							王	六
								七
						角		八
								九

持駒 香2

※36玉は中立駒

**【解答】**

27n玉 26n玉 29香 28飛 16n玉 27飛打

**18香 同飛成 まで 8手**

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
							王	六
							飛	七
						角	王	八
							香	九

持駒 なし

**【作者のコメント】**

4手目さりげなく逆王手がお気に入り。

**【解説】**

協力自玉詰で自玉が移動する作品は、難解作になり易い傾向があります。詰形の想定が難しいことも難解になる一つの要因ですが、自玉を移動するためには開き王手する形を作るくらいしか手段がなく、必然的に大掛かりな舞台装置が必要になります。それが難解さを増す要因になるのです。

ところが、本局のように玉が中立駒だと、玉を動かして王手ができるので、あまり大掛かりな舞台装置がなくても、さも当然のように玉を移動させることができます。本局でも玉移動のうち、2回は38角の1枚だけで行えています。

玉を簡単に移動できることは分かりましたが、それではどこに移動すれば良いでしょうか？それはもちろん詰みやすい場所。つまり盤の端です。端玉を二枚飛車で詰ませるのは、協力自玉詰の定番であり、それは中立駒の玉であっても変わりません。

作者のコメントにもあるように、4手目は何と逆王手。玉が中立駒の場合、自分の手番では自玉ですが、その直前には相手玉なので、相手の受けが偶然逆王手になる確率が、通常よりも高いのです。中立玉を詰ませる時は、うっかり反則手を指さないよう、念入りに手順をチェックしてください。

**【短評】**

**占魚亭さん (※無解)**

29金までのはずと思ったのですが手数足

りない。

### 真Tさん

詰上がりがなかなか見えず苦戦しました。

### たくぼんさん

なぜか一目で解けました。

こういうこともあるんですね。

☆たくぼんさんを除き、ほとんどの解答者は苦戦されたようですね。やはり一手ごとに玉の所属が変わるといのは、理屈はともかく感覚がついていかないのだと思います。

## ■ 69-8 変寝夢氏作 (正解 5 名)

### 打歩協力詰 17手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
王	皇									三
		角								四
王	皇	將								五
		●								六
		●								七
										八
王	香									九

攻方持駒 n歩2

受方持駒 なし

※85歩及び持駒の歩は中立駒

●は不透過、不可侵の領域

#### 【ルール】

#### ・石 (●)

不透過・不可侵の領域を表す。

飛び越すことは可能。

#### 【解答】

96n歩 97n歩成 86n と 同 n歩 96n歩 97n歩成

86n と 同香 96n歩 97n歩成 86n と 同銀

98香 97n歩 同香 同銀生 96n歩 まで 17手

(詰上り)

										一
										二
王										三
		角								四
王										五
皇		●								六
將		●								七
										八
王	香									九

攻方持駒 なし

受方持駒 香 n歩2

#### 【作者のコメント】

86地点での剥がし趣向です。

96n歩で終わらせるために75銀を97に持ってくるというストーリーです。

#### 【解説】

中立駒で詰めるのは大変です。本局は中立駒の歩で打歩詰にせよ、という問題ですが、すぐに思い浮かぶ以下のような順では詰みません。

96n歩 同玉 84n歩 95玉 96n歩 まで 5手?

この手順では最終手に対し97n歩と歩を逃がされてしまいます。

これを防ぐ手段は97地点を埋めることですが、金や「と金」で埋めたのでは96への利きが残って打歩詰にならないので、銀で埋めるのが正解となります。持駒が歩だけでは銀を呼び出すのは難しそうですが、受方の手番だと歩を成ることができるので、「と金」を作って85n歩、83香を順に呼び出し86ではがし、最後に75銀を呼んで97地点を埋めます。

この呼び出しはがしは小規模な繰り返し趣向になっており、初形から予想できない趣向の出現は大変好評でした。中立駒を「取れる」としたルール設定のおかげで、詰将棋における中立駒の活用の幅が広がったことを感じさせる作品です。

#### 【短評】

#### 占魚亭さん (※無解)

97地点を埋めて96n歩までに違いないのですが、97の駒は銀なのか金なのか。

n歩の可能性も考えましたが、これは二歩でダメだしなあ……。

## 真Tさん

繰り返し趣向が出てくるのは予想外でした。

## 詰ガエルさん

16歩、同玉、17歩、18と、27と、28と、85角、同玉、の手順を考えて、全然手数足りないなあとか考えたりしていたのですが、この形からミニ趣向は予想外でした。素敵な作品だと思います。

☆詰ガエルさんは「歩及びとは中立駒としてのみ現れるのでn表記は省略」した解答。それは別に構わないのですが、途中まで左右逆で書かれていたり、「歩成」を「と」書いたり、かなり自己流の記譜法で採点には困りました。でも、解けているのは間違いないので、正解として扱っています。

ところで、この短評にある香筋を止める紛れは結構怖いですね。機械検討がなければかなりの確率で余詰んでいたと思います。

## たくぼんさん

1n歩足りないと思ったら合駒で出す順がありましたね。難しくはないけど楽しく頭をひねる良い作品と思います。

## DD++さん

銀を97に呼ぶのはいいとして、なまじn歩が3枚あれば11手で詰む(96n歩、97n歩成、86nと、同銀、96n歩、同玉、97n歩、同銀不成、85角、95玉、96n歩)ので、てっきり連続で叩くところで+6手して1枚浮かせるのだろうとばかり……。

☆なるほど、85n歩を角で直接取る紛れも有力ですね。余詰消しの苦しい配置が目立つ初形ですが、それなりの理由があるのですね。



## ■ 69-9 一乗谷酔象氏作 (正解2名 ※実質1名)

推理将棋『同飛車大学9回生』

「さっきの将棋どうだった？」

僕が見たとき君の駒台は『飛角金銀桂香』が各1枚ずつと歩が沢山あって溢れそうだったけど」

「全駒で勝ったよ。」

56手目の5回目の王手で詰んじゃった」

「ホントかい？もう少し詳しく教えて」

「10手目以降、相手が直前に着手した駒をひたすら取り続けただけだよ。それも飛車だけでね」

「相変わらず強欲なやつだな。それだけかい？」

「あの将棋、4段目の着手は1回もなかったんだけど、成る手が1回だけあった。先手は1, 2, 3, 6, 8筋の順番に連続して歩を突いていたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

## 条件

- 1) 56手目に5回目の王手で詰んだ
- 2) 10手目以降、後手は「同飛」(相手が直前に着手した駒を飛で取る手)を連続して指し続けた
- 3) 先手は、1, 2, 3, 6, 8筋の順番に連続して歩を突いた
- 4) 途中局面での後手持駒は、飛角金銀桂香が各1枚ずつだった(歩の枚数は不問)
- 5) 4段目の着手はなかった
- 6) 成る手は1回だけだった

## 【ルール】

### • 推理将棋

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

## 【解答】

76歩 72飛 33角生 同角 77桂 85角  
65桂 88角生 73桂生 同飛 75歩 同飛  
76歩 同飛 96歩 同飛 16歩 同飛  
26歩 同飛 36歩 同飛 66歩 同飛  
86歩 同飛 88銀 同飛生 38金 同飛生  
33角 同飛生 23飛生 同飛 13香生 同飛  
17桂 同飛生 12歩 同飛生 92歩 同飛  
93香生 同飛 98歩 同飛生 48銀 同飛生  
46歩 同飛生 56歩 同飛 57歩 同飛生

## 58 金 同飛成 まで 56 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	飛	香	香	王	香	飛	飛	皇	一
									二
	飛		飛	飛	飛				三
									四
	飛								五
									六
									七
				飛					八
				玉					九

持駒 なし

### 【作者のコメント】

本作の狙いは、10 手目以降「24 連続同飛」です。1 枚の飛車だけで同飛を続けて最後に同飛成で詰ませます。

連続着手を 24 まで伸ばすため、先手は 1 手で後手陣に飛び込める駒 4 枚(飛角香香)で駒を取り手数を稼ぎますが、加えて桂を跳ねてもう 1 枚を取りに行き、後手も 88 に角を差し出して協力します。

### 条件の確認

- 1) 56 手目に 5 回目の王手で詰んだ
- 2) 10 手目以降、後手は「同飛」を連続して指し続けた
- 6) 成る手は 1 回だけだった
  - ・ 10 手目以降 24 連続同飛→先手の盤上で取られる駒は 88 角を除き 18 枚。不足の 6 枚は取って打つことになる。
  - ・ 取る駒は、1 手で敵陣に飛び込める駒で歩を取る(飛角香香の 4 枚分)

2 手掛けて歩を取る(桂の 1 枚分)、後手に差し出してもらおう(角の 1 枚)

  - ・ 王手のうち、33 角不成、56 同飛、58 同飛成の 3 回は必然。33 角打と 57 同飛を追加。
  - ・ 詰形は飛を成らないとできないので成る手を最終手だけに限定
  - ・ 58 に角筋を効かす必要があるが、後の展開で邪魔にならない角打の場所は 85 のみ
- 3) 先手は、1, 2, 3, 6, 8 筋の順番に連続して歩を突いた
- 4) 後手は、飛 角 金 銀 桂 香を各 1 枚ずつ持

っている局面があった

- ・ 突き順を限定し、駒取り順を狭める
  - ・ 88 角不成の順に限定(66 角の防ぎ)
  - ・ 76 歩打(～96 歩)～16 歩～26 歩～36 歩～66 歩～86 歩。次の 88 銀～38 金～33 角～23 飛に繋げる
  - ・ 右桂を 17 に跳ねるタイミングは 1 枚目の香を取られた(6 種 1 枚ずつ持った)後に限定
- 5) 4 段目の着手はなかった
    - ・ 77 桂～65 桂～73 桂の順に限定(75 歩～74 歩～73 歩の展開の防ぎ)
    - ・ 同時に 85 角打～88 角不成を限定

### 【解説】

「同」の連続を主題とした「威風堂々」シリーズ。今度は更に連続回数が増え、ついに「24 連続同飛」にまで到達しました。

まずは、恒例の駒数チェックをしましょう。初期配置で玉を除いた先手の駒は 19 枚。「24 連続同」を実現するには 5 枚分足りません。足りない 5 枚は先手が後手の駒を取って調達しなければなりません。先手陣からすぐに後手陣に入れるのは飛角香香の 4 枚だけ。あまり手数に余裕がない中、あと 1 枚、どの駒で後手の駒を取るのでしょうか？

答えは何と「桂で歩を取る」。条件 5)の「4 段目の着手はなかった」から歩で後手の歩を取りに行く筋はないことは分かりますが、桂を 3 回も動かして手数が足りるのでしょうか？

そんな手数不足の心配を覆すのが角交換のトリック。作意 3 手目の 33 角は普通はやりたくない手です。王手が掛かってしまうので角をすぐに取り除かれ、「同飛」の回数が 1 回減ってしまいそうに思えるからです。でも、6 手目の 88 角で、後手が角を返却すれば、枚数の辻褃は合い、角を逃げる分の手数を削減できるのです。

今回の条件の付け方で巧いと思ったのは 1) に含まれている王手条件。これで自玉への王手が掛かりやすい詰型にある程度限定できるので、なかなかさりげない条件付けだと思います。

作意を改めて見てみると「9 回生」の題名に偽りなし。飛が 9 回「生」で動いていますね。

それにしても「威風堂々」シリーズは遂に「24」まで来てしまいました。いつか「38」の究極版が登場するのでしょうか。

### 【短評】

## 真Tさん

かなり悩みました。

最初に考えたのは 66 角から 57 角成+一段飛車の詰上がり。56 手にはなりますが、王手条件が満たせず。

次は 99 角と香を取って 5 筋に香を使う詰上がり。これも王手条件が満たせません。

角を使う詰上がりにたどり着いても、6 手目に渡すことを考えてなかなか上手く行きませんでした。4 手目に角を渡すと、あとは自然と手順が浮かび上がりました。

桂の経路が 85 角で限定されるのがいい感じでした。

☆作者以外で唯一の正解者となったのは真Tさん。多くの解答者が白旗を上げる中、大殊勲だと思います。今回は本局と 69-3 の2つが難解だったため心配していたのですが、たくぼんさんと真Tさんの解答で、どちらも解答者ゼロを免れました。

## たくぼんさん（※無解）

降参です。

76 歩 32 飛 33 角生 同角 78 金 77 角生 同金 69 角 35 角 同飛 75 歩 同飛 76 金 同飛 以下など読みましたが、あと1つ駒が足りません。根本的な構想が違うと感じます。

## DD++さん（※無解）

少し挑んでみたのですが、これまでのをじっくり鑑賞できてないのもあってどう手を付けていいのかさっぱりでした。そろそろ暇な時期になるのでこれまでのもまとめて同々巡りシリーズをゆっくり鑑賞させていただきます。

### 【総評】

## 変寝夢さん

今月は難易度の差が激しいかも。

## 館長さん

今回は2問しか解けませんでした。

☆館長さんの今回の解答はペンネーム使用について明記されていなかったの、前回使われた「館長」をそのまま使用しました。面倒かもしれませんが、ペンネームを使う場合は毎回ペンネームの明記をお願いします。逆に、

ペンネームの使用をやめる場合も、その旨を解答に明記してください。

## たくぼんさん

仰せの通り 3 番と 9 番が難解でした。9 番は解きたかったです。一乗谷さん申し訳なし。

## DD++さん

今月は第一感がハズレばかりでした。経験値が足りないようです。

☆今回は風邪で約一週間が潰れてしまい、原稿執筆時間が極端に減ってしまいました。しかも今は花粉症で頭が回らないので、(負の)相乗効果で変な原稿を書いてしまっているかもしれません。中身が薄いのは仕方ないとして、解説の内容や文章に間違いがあれば迅速に修正致しますので、遠慮なくご指摘願います。

以上



## 強欲な世界パート2 解答発表

長編5作ながら6名の方より解答を頂きました。

【解答者(敬称略)】橋本孝治、変寝夢、占魚亭、隅の老人B、一乗谷酔象、真T

### 1番 強欲協力詰 73手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と					と	歩	歩	金	一
	歩	手			と	又		歩	二
	桂				と			と	三
		進				金	又	又	四
	桂	銀				桂	王		五
香	香			銀					六
	香	銀		と	歩				七
角	香	香	銀			と			八
銀	香	飛	と				歩		九

持駒なし

- 14と 同玉 24金 同玉 23桂成 同玉  
 33と 同玉 32と 同玉 31と 同玉  
 21金 同玉 11歩成 同玉 12歩 同玉  
 13歩 同玉 14歩 同玉 15歩 同玉  
 16歩 同玉 27と 同玉 28歩 37玉  
 47と 28玉 29歩 同玉 68と 79金  
 38角 同玉 48と 同玉 58と 同玉  
 67銀 同玉 68銀 78玉 79銀 同玉  
 78金 同玉 89角 同玉 98銀 88玉  
 97銀 87玉 96銀 同玉 95金 同玉  
 84銀 86玉 75銀 85玉 74銀 同玉  
 64飛 83玉 63飛成 82玉 72龍 91玉  
 83桂 まで 73手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
		龍							二
	桂								三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒なし

★ 見所は 67 手目の 64 飛の限定打のみ。3 段目に成って次に 72 成桂を奪えるのはこの地点のみ。狙いは最後の玉の周りに駒がない詰上り(風船詰とか言ったっけ)。煙ではあまり見ないと思います。

橋本孝治

最短手数煙。手なりで進めれば解けるので、客寄せにはもってこいですね。「同」の出てこない収束がちょっと面白いので、今度は「同」のない強欲煙を目指してはいかがでしょう？

★ それを狙う素材も実はあります。あとちょっとなんですが同がない序が難しい。

変寝夢

6 2 手目 8 4 同玉、7 3 桂成に嵌まりました。6 7 手目の飛打が限定なのか？と悩んだことは秘密です

占魚亭

軽いウォーミングアップという感じ。72 成桂の取り方が考え所で、64 飛が上手い一着。

隅の老人 B

序、歩の 5 連打で、これは煙と確信。以下、駒を消すことに専念。収束、63 飛成に 82 王と歩を取る辺りは、強欲ではなく小欲ですね。

★ たしかに・・・

一乗谷酔象

64 飛打～63 飛成～72 龍が絶妙の収束。

真 T

序中盤はさらさら流れますが、飛を取って少考。64 飛の限定打からの収束がいいですね。

### 2番 強欲協力詰 77手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王	又			一
				歩		歩	又	香	二
	桂			香	歩	歩			三
	と	と	歩	香	桂	歩		桂	四
	と	歩	香		香	銀			五
	角	歩		と	角	香			六
	歩	香		香	と				七
	桂	香	飛		香	と	と		八
		銀					龍		九

持駒なし

31 歩成 同玉 22 桂成 同玉 23 龍 同玉  
 34 銀 12 玉 43 銀生 56 金 13 歩 同玉  
 14 歩 同玉 15 歩 同玉 16 歩 同玉  
 27 と 同玉 37 と 同玉 47 と 同玉  
 48 歩 同玉 56 香 78 金右 59 金 同玉  
 68 銀 同玉 67 と 同玉 78 角 同玉  
 89 金 同玉 79 金 98 玉 88 金 同玉  
 89 香 97 玉 96 と 同玉 95 と 同玉  
 94 と 85 玉 86 香 74 玉 84 と 同銀  
 75 歩 83 玉 84 香 同玉 73 銀 75 玉  
 64 銀生 同玉 54 銀成 同金 53 銀 同玉  
 54 香 44 玉 55 金 43 玉 53 香成 同玉  
 54 金 52 玉 53 金 51 玉 52 金 まで 77 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
				金					二
									三
									四
									五
				香					六
									七
									八
									九

持駒 なし

★ 序盤のポイントは 9 手目の 43 銀です。成か不成か？進めていくと以下の局面に辿り着きます。

62 手目の場面

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				歩					二
				王	全				三
				王	桂				四
				香					五
				香					六
									七
									八
									九

持駒 銀

こうなると銀打しか手がないので切れてしま

います。銀生だと 54 銀成、同金、53 銀といけるわけです。

中盤の手の繋ぎ方は強欲を数多く解いている方なら手筋とも言える順ですがまあまあでしょうか。

橋本孝治

9 手目 43 銀不成が 63 手目を見越した遠大な伏線。初めはここで歩が取れるのを忘れて、「誤図？」とたくぼんさんに問い合わせさせていただきました。詰上りは佐々木聡氏の「般若」と同系統のものですが、非限定なしでできるのが、強欲煙の良い所。

★ 橋本さんのメールを見て「やってしまった！」と凹みました。WFP 作品展担当者の指摘でしたから・・・さすがにね

変寝夢

5 2 手目 7 4 玉が柔らかい受け。もうダメかと思いました。6 3 手目 6 5 銀かどうかも迷いました。

占魚亭

中盤の手の繋ぎ方にけっこう悩む。43 銀不成の伏線手に感心です。

隅の老人 B

どの駒で取ろうかな、こんな場面が出てきます。続いて、どちらの駒を取るのかな？こんな場面もありました。強欲詰＝二者択一、そんな気分の解后感です。中央での煙、解けて気分も中空に舞います。

一乗谷酔象

53 金に効かせて 5 手目 43 銀成とすると攻めが切れる仕掛け。

真 T

43 銀生の伏線手が上手いですね。(43 銀と歩を取る手が見えず、23 銀成以下詰みと思って悩んだのは内緒。) 84 と、同銀、75 歩、83 玉、84 香、同玉…あたりの捌きが印象に残りました。

★橋本さんと同じ指摘ですね。解答強豪の方には同じような盲点があるんですね。

3番 強欲協力詰 77手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	と		と	料		銀		ス	一
	と			香					二
飛	と			と	と			歩	三
							飛	桂	四
歩							歩	香	五
	王		歩		歩	歩	銀	歩	六
		歩	金	歩			香	金	七
	歩	馬			皇	香		桂	八
歩	角	桂	王			銀			九

持駒 なし

95 飛成 同玉 94 飛 同玉 93 と 同玉  
 92 と 同玉 91 と 同玉 81 金 同玉  
 71 と 同玉 62 と 同玉 53 と 同玉  
 42 銀生 52 玉 51 銀成 同玉 43 桂 41 玉  
 31 桂成 同玉 22 桂成 同玉 12 歩成 同と  
 同香成 同玉 13 歩 同玉 14 歩 同玉  
 15 銀 25 玉 16 金 同玉 17 歩 同玉  
 28 銀 18 玉 27 銀 同玉 37 金 28 玉 27 金 38  
 玉 37 金 同玉 26 銀 46 玉 56 金 36 玉  
 46 金 同玉 37 銀 57 玉 48 銀 66 玉  
 68 香 同全 57 銀 77 玉 68 銀 同玉  
 69 銀 同玉 78 角 79 玉 13 角 88 玉  
 79 角成 99 玉 89 馬 まで 77手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
			角						八
王	馬								九

持駒 なし

★ 3手目 87 桂を入れるか・・・しかし成生非限定？とちょっとだけ悩んでもらえるかもしれないが、先に進めばいずれ分かるので進めます。以下 37 手目までは考えるところ

なし。同玉ではすぐに手が切れるので 25 玉。以下金を入手し、47 手目 37 金が手を繋げる唯一の手段。以後は 68 香と捨てて質駒を作るのがポイントで角を入手し角と馬での詰上り。初形の角の位置とシンクロしていると占魚亭さんが指摘されましたがこれは狙ったものではなくたまたまでした。この詰上りが創作の原点。強欲ばか詰は大駒を早めに消しておかないと余詰易いので解くのは難しくない本作も創作はかなり苦しみました。

橋本孝治

38 手目に少考。配置から斜め追いを予想しましたが、不規則な銀追いでした。この作も普通詰将棋では「ありそうでない」詰上り。まったく逆算不能というわけではありませんが、普通のルールでは 7 手位が限界？

変寝夢

無解です。4 7 手目首を傾げながらも一度は 3 7 金と打ったのですが、後が読み切れませんでした。たくぼんさんの強欲だなどと思わせる一手でした。

占魚亭

角 2 枚の配置が初形と詰上りとでシンクロ。これは凄い&素晴らしい！

隅の老人 B

58 香を残して王を追うのが、巧妙な伏線。53 王で 21 角を登場させる、これまた巧妙。最後に金合が飛び出すとは！ ハイ、御見事、これは佳作。

★ ちょっと作意とは違うような短評ですが、2 番の感想？

一乗谷酔象

一見伏線っぽい 87 桂を我慢。

真 T

37 金～27 金～37 金や 56 金～46 金の金使いが印象に残りました。収束は銀を捨てずに詰まそうとして苦戦しました。

4番 強欲協力詰 75手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	銀	馬	と							
二		科								
三	馬	歩	と						と	
四		歩						歩		
五	馬	桂	と	と		王		歩		
六			歩			歩	歩			
七	歩	馬	桂	歩	歩	歩	馬			
八		香		と	桂	香	香	馬		
九	飛	角	飛				歩	香		

持駒 なし

- 36歩 同と 同香 同玉 39飛 同金
- 25馬 同玉 27香 15玉 14と 同玉
- 23銀 同玉 67角 同金 24香 同玉
- 25歩 同玉 26歩 同玉 27歩 同玉 28歩 同玉
- 29歩 同玉 39飛 同玉 29金 48玉
- 39金 47玉 57と 同玉 56と 58玉
- 57と 同玉 48金 66玉 57金 77玉
- 67金 88玉 78金 97玉 87金 同玉 86金 同玉
- 77金 75玉 86金 84玉 95金 同玉
- 94金 同玉 93桂成 同玉 82銀生 同玉
- 72歩成 同玉 62と 同玉 73銀 51玉
- 63桂 61玉 71桂成 同玉 72銀打 まで 75手

詰上図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一			王							
二			銀							
三			銀							
四										
五										
六										
七										
八										
九										

持駒 なし

★ 序で考える所は7手目 25馬と捨てる所くらいだがそんなに紛らわしくはない。最初の関門は解答者の短評からも分かりますが 51手目の場面。77金～76ととして金を打って下段に落としていく紛れがあります。95金

を取る形を考えれば 86金と捨てる手に気付くと思いますが、86金はやややり難い手と私も思います。次は 63手目。82銀打とすると同銀、同銀生、同玉、71銀、73玉、62銀生以下 75手かかります。82銀生か銀打か・・・創るほうはこの辺りから逆算してしますので紛れる手順になりますね。

橋本孝治

この作辺りから紛れが出て、てごわくなってきます。特に収束。63手目は 82銀打が非常に際どく、ちゃんと手数を数えないと結論が出せません。51手目も最初は 77金以下、金を右側に打つ紛れを読んでしまい、意外と手間取りました。

変寝夢

51手目がポイントだった。最初 77金～76とだったが、非限定が生じたので間違っていることに気がついた。63手目以降もすんなりとはいかなかった。

占魚亭

中盤の金追いが楽しかったです。

隅の老人 B

巧妙、序の 18手辺りまでが、特に巧妙。中盤。金での王の追撃、最後は銀2枚での煙。見処が多い、解いて楽しくなりました。

一乗谷酔象

桂を4段目に打つ収束を選ぶと手数超過。最後まで 71銀を残す順は指しにくかった。

真 T

中盤から紛れが多く、また収束が見え辛く、この作品が一番難解でした。

5番 強欲協力詰 75手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	馬									
二	歩	歩			歩	馬		馬	香	
三	香	歩			歩			馬	銀	
四	飛	香		銀		と		歩	王	
五	銀			桂	香			桂	歩	
六	角		と					と	馬	
七			と	と			桂		歩	
八							歩	と	桂	
九		と	と	と		馬			飛	

持駒 なし

- 15と 同金 26桂 同金 17飛 同金
- 15歩 同玉 16歩 同玉 17と 同玉

27 金 同玉 63 角生 38 玉 27 角生 37 玉  
 47 と 同玉 58 と 同玉 49 角 同玉  
 59 金 同玉 69 と 同玉 79 と 同玉  
 78 と 同玉 77 と 同玉 86 銀 同玉  
 75 銀 同玉 95 飛 84 玉 85 飛 93 玉  
 83 飛生 92 玉 93 飛生 82 玉 91 飛成 同玉  
 92 歩 同玉 81 銀 同玉 73 桂生 71 玉  
 61 桂成 同玉 51 歩成 同玉 53 香生 同金  
 52 歩 同玉 53 と 同玉 43 金 同玉  
 33 桂成 同玉 22 銀生 同玉 23 歩生 12 玉  
 21 角 同玉 22 金 まで 75 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
							金		二
							歩		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

★ 狙いは勿論 6 種不成。条件を先に決めて作図したのはこの作品が初めてです。4 種までは結構簡単に入るのでありますが玉位置 3 段目以内で創ろうとするとスペース不足で難しく、何とか 5 種を 3 段目以内で出来たので序の角生に入れることで完成しました。まあ中途半端に飛生と角生が 2 回ずつだったり銀、桂、香はそれしか王手にならないなど不満点はありますが本人的にはよく頑張ったと思っています。

橋本孝治

取られないための 15 手目 63 角生でハッとす。飛不成の連続で期待が膨らみ、香不成で「もしや」。最後の歩不成で 6 種不成の達成に拍手。今回の作品展で最高の佳作。

変寝夢

六種生煙ですね。2 7 角生辺りから気がついてました。収束は今ひとつでしたが、左上の玉と飛のおかしなやりとりがツボに入りました。

占魚亭

大駒 2 種の不成を入れるとは流石です。

★ 6 種には気付かれなかった？銀とか桂が普通でしたからね

隅の老人 B

63 角生、27 角生、この 2 手に、たくぼんさんの得意気な顔が目に見えかぶ。83 飛生、93 飛生、成る程、成る程。最後の歩生で、作者の意図が判明、6 種不成入りの煙詰。恐れ入りました、です。

一乗谷酔象

23 歩成～22 銀成の収束を選ぶと手数超過。なるほど、6 種不成が決まった。

真 T

6 種不成。角生に続いて飛生が出てきて、これはもしや…と思ったら当たりました。本当に上手く作るものです。

【総評】

変寝夢

3 番が残念でしたが、どれもたくぼんさんならではの長が出ていて楽しかったです。次号も楽しみです。

占魚亭

今回は解いたものの解答を出し忘れたので、今回は早めに解いて解答を提出する予定でしたがギリギリになってしまいました。

隅の老人 B

強欲詰で煙が 5 題、解けて嬉しくなりました。5 題、それぞれに面白い？趣向が入っていて楽しく解図。長時間を要して解いたのに、「強欲詰は意外と簡単に解ける」、これが私の解後感です。

一乗谷酔象

いずれの作品も考えさせられるポイントが 1～2 カ所あり楽しませてくれました。

真 T

これだけ全駒煙を量産できるのは凄いですね。普通かしこや最悪詰で作ろうとして、一作も完成したことのない私にとっては、本当に凄いとしかいいようがありません。添川氏の全駒煙作品集とどちらが早いでしょうか？

★ もっと多く考えどころがある作品を創りたいとは思ってますけど、解くのはこれ位がちょうどいいようですね。

# 推理将棋第 8 6 回出題解説

担当：NAO

出題：平成 27 年 1 月 1 日  
 解答締切：平成 27 年 2 月 20 日

年賀詰は、新年のお題（1 1 か 1 5 か 2 7）に触れた易問をすっきりと解いていただくのが理想です。後編は元旦出題の 4 題。86-2 と 86-3 は手数割には易しめでしたが、86-1 と 86-4 は年賀詰としては難しかったようです。

## 8 6 - 1 中級 NAO 作 1 5 の勝負手 1 1 手

「指し初めの一局はどうだった？ 4 手目の 4 4 歩まで見ていたけど」

「一段目に駒を成った後、次の手で勝負手を放って一発で仕留めたよ」

「へえ、新年早々からめでたいね。勝負手ってどんな手なんだい？」

「1 1 手目 1 5 の手が会心の一手。それが初王手で詰んだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？  
 そして 2 0 1 5 年、貴方の勝負手は？

(条件)

- ・ 1 1 手目 1 5 への着手が初王手で詰んだ
- ・ 4 手目は 4 4 歩
- ・ 9 手目は一段目に成る手

出題のことば (担当 NAO)

初王手の前に 1 段目に成る形を推理しよう。  
 追加ヒント

9 手目に桂を成って、11 手目の止めは角打。

推理将棋 8 6 - 1 解答 担当 NAO

- ▲ 7 六歩 △ 3 四歩 ▲ 2 二角成 △ 4 四歩
- ▲ 2 一馬 △ 4 二玉 ▲ 4 三桂 △ 2 四歩
- ▲ 5 一桂成 △ 2 五歩 ▲ 1 五角 まで 11 手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金	王	金	銀	馬	皇	一
	飛				王				二
歩	歩	歩	歩	歩				歩	三
					歩	歩			四
							歩	角	五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒なし

元旦出題の 1 問目は担当から年賀のご挨拶。1 5 の離し角で詰む 9 手詰手順をアレンジしたのですが、この筋を見たことのない方には難しい問題となりました。

最終手が 1 5 着手と決まっているので、まずは止めの駒と最終玉位置を推理しましょう。ただし、1) 後手の手数は 4 手目 4 4 歩のため残り 4 手であること、2) 先手は 9 手目 1 段目に成る手を指せるように攻め駒を残す必要があること、この 2 点でかなり絞り込めます。

・最終手 1 5 金の筋は？

ぱっと思いつくのが 14 玉を 15 金で詰める筋ですが、4 手め 4 4 歩が入ると残り 4 手で 14 迄の玉移動が困難です。また、玉が移動するだけなら 24 までいけますが 24 玉の詰形は見当たりません。

・最終手 1 5 角の筋は？

1 5 の離し角なら角筋に入ればよいので、33,42,51 のいずれか。特に 42 が詰めやすい形になります。なぜなら、42 玉の周囲の 43,53,41,31 の 4 カ所が自駒で、33,51 が角筋でそれぞれ塞がっているため、残りの退路 32 と 52 の 2 カ所だけ封鎖すればよいからです。ただ、本問ではわざわざ 43 に空間を空けているのでこれも封鎖する必要があります。やっかいなのは合駒の余地。24 歩と 33 桂は潰しておかねばなりません。

離し角の筋を整理してみましよう。

1) 15 角で詰めやすいのは 42 玉。退路の 32, 43, 52 の 3 地点を塞ぐ。

2) 15 角に対する応手に、33 桂も 24 歩も指せ

ないようにする。

次に9手目に成る駒を推理します。第一感では9手目に成る駒は角。しかしながら、▲76歩 △34歩 ▲22角不成 △44歩・・・のように成を保留して進めると失敗します。33桂を防ぎながら43地点を塞ぐうまい手順が見当たりません。また、3手目に取った角を打って成ろうとすると最後の15角が打てません。また、3手目角成とした馬を23,14,15と引くのは手数オーバーになります。

したがって「▲76歩 △34歩 ▲22角成 △44歩」の後、先手は5手目駒取り、7手目駒打ち、9手目一段目成りと進めます。

5手目は▲21馬。32,43の退路塞ぎと33桂の合駒防ぎでぴったりです。

7手目～9手目は▲43桂打～▲51桂成。一段目の成りで52の退路を塞ぎます。

あと24歩合いの余地をなくし、42玉のタイミングを決めればよい。最終手が初王手のため7手目▲43桂打が王手にならないよう6手目は△42玉。

5手目以降「▲21馬 △42玉 ▲43桂 △24歩 ▲51桂成 △25歩 ▲15角 まで」

・42玉を15の離し角で詰む9手詰手順では、本問と同様に馬で桂を取って52地点を塞ぎます。本来44桂か64桂の一手ですみます。44歩が43桂打の場所を見せてわかりやすいかと思いましたが、一段目桂成りが盲点に入りやすかったようです。

・離し角(馬)の筋は既往の傑作にも使われました。初見の方はご鑑賞いただければ幸いです。おもちゃ箱 19-2 渡辺秀行氏作 4段目の駒打ち 9手

おもちゃ箱 46-3 はなさかしろう氏作 馬術競技 10手

それではみなさんの短評をどうぞ。

DD++ 「条件から3手目は22でも33でも当然不成と思込み、唯一瞬殺できず。新年早々一本取られました」

■それでも流石、元旦の一番解答に間に合いました。

斧間徳子 「44(64)桂と打つ9手詰を、51桂

成に変えて11手にした作品。この詰め型を知らない人には手ごわい年始あいさつだったと思います」

■空間を開ける 44歩がヒント条件のつもりでしたが、確かに桂成は見えづらいですね。

Pontamon 「空き王手を匂わせる初王手条件の書き方と、邪魔な条件の4手目44歩で1～2筋の玉を15の駒で打つ取るには手数が足りず。44歩は桂の打ち場所を空ける協力手で、2筋の連続歩突きで合い駒効かずとは意表を衝かれました」

■2筋の連続突きは、のんびりしているようで初めは考えませんね。

孔明 「ずっと角成で考えていて解けませんでした。桂馬でも一段目に成れる(三段目に打てる)ことを見落としてました。玉の詰む場所も3三か2四で考えていて手数以内に詰まることがなかなかできません。ヒントを貰って解けた後、なんでこの形が見えなかったのか不思議に思いました」

■9手目でなければ角成の手順もありました。

波多野賢太郎 「手数的に考えると1五角の離し角だとは思ったんですが、2三步がいちゃ無理だろうと悩みました。こんなにうまくできた詰上がりがあるんですね」

■遅いようでも24～25歩で、離し角成功。

はなさかしろう 「15角で42玉を射止める形ですね。本問はさらに44歩、後手玉の佇まいが着流し姿のようで粋な詰め上がりでした」

■風通しがよすぎて冬には寒いか。夏向きでしたか。

飯山修 「イヤーこの問題にえらく時間をとられました。全く筋がうかばないので最後の手段で過去問を調べ、ようやく19-2の応用とアタリをつけたまではよかったが、9手目1段目成の詰み方がみえずに試行錯誤。1手で済むものを2手かけてるものなんてすぐ捨てますよ。44歩なんてムダ手と思っているのがいけなかった。

『44歩の理由を考えよう』だったらもう少し早く辿り着いたかも。直前ヒント前に解けてよかった」

■追加ヒント前の解答は流石。44歩条件自体がヒントのつもりでした。

小山邦明 「44歩突きでうまく駒打ちの場所を作り、収束形も鮮やか」

■最終形は無駄がなく、スッキリ決まりました。

S.Kimura 「今回の一番の難問で、最終手に飛車や桂馬を打つことも考えたりしました。9手目と11手目を両立させる手が分からず、ヒントを見たのはこの問題だけでした」

■年賀詰めとしては手数割に難しい問題でした。

占魚亭 「最初、一段目に成るのは角だと思っていたので苦戦しました。44歩の理由を考えれば、あまり悩まなかったのに」

■白状します。原案では一段目に成る手に"9手目"限定がなかったので、角が一段目に成る余詰筋があったんです。11手詰なので第85回に出題するつもりだったんですが、出題直前に余詰に気がつき、今回修正出題しました。

枘彰介 「4手目4四歩が4三地点に桂を打つ布石だったとは、ヒントから詰め上がりが見えるまで思いつきませんでした」

■やはり一段目に桂が成るのは読みづらい。

諏訪冬葉 「王手なしで玉を4段目まで持つてくるのは無理そうなので玉は42。43-32のラインに角を置いておけばあとは△23歩の始末だけ」

■始末に2手掛けても間に合いました。

隅の老人B 「11手目が初王手、これで6手目が決まります。解けて成る程、いつもの科白」

■玉移動のタイミングのため、条件数を増やさずに、"初"王手と表現しました。

渡辺 「第一感は16歩から桂を跳ねて41金を取って15に打つが44歩条件に阻まれる」

■44歩条件がなくても難しそう。16歩～17桂～25桂の後、33への利きで玉が33に上がりませんね。

鈴木康夫 「プログラムに解かせました。局面1024999881 所要時間7786秒」

■いつもありがとうございます。お墨付きいただきます。

たくぼん 「ヒントがなければ苦戦しただろう。成る駒が桂は読みにくい」

■44歩が43桂打の呼び水となると思いましたが、桂成は見えずらいんですね。

-----  
正解：16名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
孔明さん 小山邦明さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さんはなさかしろうさん Pontamonさん 枘彰介さん 渡辺さん

-----  
**86-2 中級 斧間徳子さん作**  
**平成27年の指し初めの一局 13手**

「昨日の指し初めの一局、わずか13手で27にいる相手玉を詰ませて勝ったよ。

平成27年の指し初めで27玉を詰めるなんて正月から縁起がいいや」

「そうだねえ。で、どんな将棋だったの」

「ええと、2筋の手が6回あったな。あと、飛車を引く手と不成の手もあったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・13手で27にいる後手玉が詰んだ。
- ・2筋の手が6回あった。

- ・飛車を引く手があった。
- ・不成の手があった。

出題のことば (担当 NAO)

27地点まで後手玉が進む手順を推理しよう。  
追加ヒント

後手は玉の着手のみ。42,33,24,25,26,27と進みます。先手はそれをアシストします。

推理将棋 86-2 解答 担当 NAO

- ▲7六歩 △4二玉 ▲3三角不成 △同玉
- ▲7八飛 △2四玉 ▲7七飛 △2五玉
- ▲2六歩 △同玉 ▲7八飛 △2七玉
- ▲2八飛 まで13手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	
二		飛						飛		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	王	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

指し初めは年賀詰のお題"27"にちなんだ一局。27まで玉が進んで詰まされますが、後手番の着手は6回だけ。後手はひたすら玉を動かすしかありません。一見やさしそうですが、『飛車を引く手』の実現が難しく、ちょっとした謎解き問題です。

条件を整理して手順を推理していきましょう。

- 1) 13手で27にいる後手玉が詰んだ。  
・後手番の6回着手で7段目まで玉移動するので、初手から4手目迄「▲76歩 △42玉 ▲33角 △同玉」が必然。続いて後手は6手目以降\*4玉～\*5玉～\*6玉～27玉と進めるだけ。ま

た、後手玉が27に進入できるように、先手は"36歩か26歩と突く手"と"28の飛を移動する手"を指す。

- ・最終27玉形を詰ます形は？ 26への退路を塞ぐ手が限られるが、27と26を同時に効かす形(最終手)は37金か28飛を想定。

- 2) 飛車を引く手があった。  
・どこで飛車を引くかが最大の謎。先手番の7回着手のうち序の76歩～33角を除けば残りの着手は5回だけ。しかも、先述の"36歩か26歩と突く手"と"28の飛を移動する手"も含む。

・飛車を引くには飛の下に空間が必要。しかし、28飛の尻桂を動かすか、28飛を横移動した後その下の9段目の駒をどかすか、いずれも手数がかかって失敗。

・先手の着手5回だけなら26歩～27飛～28飛～X8飛(横へ移動)～28飛と進められるが、後手玉の6段目進出が不可。「▲76歩 △42玉 ▲33角 △同玉 ▲26歩 △34玉 ▲27飛 △35玉 ▲28飛」と進めたとき10手目に36玉も26玉も指せない。

・最後の手段は、初手76歩でできた空間77の利用。先手は、78飛～77飛～78飛～28飛と7筋で飛車を引く手を実現し最終手で飛車が28に帰還する。飛車移動に4手かけたので、残りの1手は26歩に確定。

- 3) 2筋の手が6回あった  
・先手の着手は、序：76歩～33角、飛移動：78飛～77飛～78飛～28飛、26歩突き。これらの手順で2筋が2回。残り4回の後手着手が確定：6手目以降 24玉～25玉～26玉～27玉。

・先手26歩のタイミングは、後手が25玉～26玉と進められるよう8手目25玉の直後に確定。  
・5手目以降「▲78飛 △24玉 ▲77飛 △25玉 ▲26歩 △同玉 ▲78飛 △27玉 ▲28飛まで」

- 4) 不成の手があった  
・3手目33角不成

飛車をどこで引くか？2筋着手6回の条件が2筋で引く手順が連想されるので、2筋で引く手順を一度は読まれた後、改めて7筋で屈伸できることに気づかされます。初手の歩突きが角道を空けるだけでなく、飛車を屈伸するための空間づくりに使われたのは新手筋でしょう。浮く手順を伏せて「飛車を引く」と表現した条件

付けが実に巧みな作品でした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

斧間徳子（作者） 「無意味に飛車を往き来させる手順をバカバカしいと思って頂けたら満足です」

■バカバカしい手順のために、はっと膝を打つ発見がありました。

DD++ 「76歩を突いたことをこんな形で再利用するのは目から鱗」

■上下運動するための空間に利用するのは新手筋でした。

Pontamon 「2筋の着手数と不成・飛車引き条件が、飛車の2筋不成から飛車成りで引いてくる手順を読ませる狡猾な条件設定。正解手順は、詰将棋での強過ぎる攻め駒を捨てる、攻めゴマ消去の手筋を思い浮かばせる手順でした」

■一旦姿を消す飛車。飛車引きの謎解きが作者の狙い。

孔明 「玉の詰む場所が確定してるので解きやすかったです。後手は玉が2七に行くためにどのルートを通っても6手かかるので通路を開ける手が指せず4手目まではすぐに確定。あとは▲2六歩のタイミングと飛車を引く手を指す筋ですがこれもすぐに確定しました」

■実は理詰めで解けば、それほど難しくないんですね。

波多野賢太郎 「この問題は序の4手、後手の手がかなり限定されるので考えやすかったです。ただ、飛車を引く手という条件は悩んでしまいました。飛車の運動だったんですね」

■76歩を活かして77～78の屈伸運動というのが斬新です。

はなさかしろう 「7筋に回っての飛車の屈伸運動が面白かった。後手玉が来るのを先手が待つという流れがわかりやすく解きやすいですが、2筋で屈伸すると手が合わなくなるんですね」

■遅いようで早い横往復と縦屈伸。

飯山修 「引く手にすぐ気が付くかどうかですね」

■引くためには一歩前進すればよいんです。

小山邦明 「飛引の出来る候補場所を考えたら7筋があった。」

■横移動してから浮く手順。柔らかく発想しましょう。

干シ 「初解答です。27の玉が詰むのはこれしかないが、飛車引きに苦戦。7筋は目からウロコ」

■初解答ありがとうございます。DD++さんと同じコメントとは強豪とお見受けしました。

S.Kimura 「飛車を引くために、77の空きを利用することに気付いたときは感動しました」

■感動級の7筋の屈伸運動。

占魚亭 「『飛車を引く手』に悩みました。初手を活かす着想で、素晴らしいと思います」

■引くために寄って浮く手順はなかなか気づかない。

柘彰介 「推理将棋でも良くお目にかかる初手7六歩は角道を開けて役目終了のことが多いですが、飛車の引き場所を作るという再利用のされ方は初めて見ました」

■角道を開けてお役目終わりと思わせておいて、実は伏線を兼ねる初手76歩。

諏訪冬葉 「初形+△27玉の形が詰んでいるので飛車を別の筋に回すのは分かったけど、まさか77の隙間を使うとは思いませんでした」

■飛尻の駒をどこかより浮く手が早かった。引いた後の飛車が8段目にあることが重要です。

隅の老人B 「王が27に到達するには、最短で6手。さて、その道順は？」

■最も早いアプローチは、42～33はお決まりの道筋。24～27までは一気に。

渡辺 「『飛を引く手』という条件が巧い」

■浮く手と横移動往復の手を見せないところが巧みです。

鈴木康夫 「プログラムに解かせました。局面7326670 所要時間2秒。後手玉が寄り道する暇が無い所為か短時間で解けました」

■お墨付きいただきました。この手数で2秒とは驚きです。

たくぼん 「飛を引く手にこれだけ苦勞するのは・・・。駒を移動しないルートがあったとは参りました」

■9段目の駒を動かして引く手を読まされました。

正解：18名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
干シさん 孔明さん 小山邦明さん 鈴木康夫さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん つぼみさん DD++さん  
波多野賢太郎さん はなさかしろうさん  
Pontamonさん 枘彰介さん 渡辺さん

86-3 初級 諏訪冬葉さん作  
15と27

生徒「先生、新年用の問題作りました」  
先生「ほう、どんな問題だい？」  
生徒「15年にちなんで15手詰です。  
"1、5、9手目は27にある駒を動かしました"  
"4、8手目は15に駒を動かしました"  
先生「(小考)・・・あとで職員室に来なさい」

さて、どんな将棋だったのだろうか？  
そして、先生が生徒に言った一言とはなんだろうか？

(条件)

- ・15手で詰んだ
- ・1手目と5手目と9手目は27にある駒を動かした
- ・4手目と8手目は15に駒を動かした

出題のことば (担当 NAO)

9手目までは必然手。その後の6手で詰む基本形を推理しよう

追加ヒント

止めの一手は、お馴染みの23歩成。

推理将棋86-3 解答 担当 NAO

- ▲2六歩 △1四歩 ▲2七飛 △1五歩
- ▲2八飛 △1六歩 ▲2七飛 △1五香
- ▲2八飛 △4二玉 ▲2五歩 △3二玉
- ▲2四歩 △4二飛 ▲2三步成 まで15手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂		
二						飛	王	角		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	と		
四										
五									皇	
六									歩	
七		歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	
八		角						飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

条件

- ・1手目と5手目と9手目は27にある駒を動かした(26歩、28飛、28飛)
- ・4手目と8手目は15に駒を動かした(15歩、15香)

生徒が先生に披露した新年用の問題。お題となる年号は平成の"27"と西暦の"15"ですが、本問は欲張ってその両方を使いました。9手目までの手順は必然手で、15手の長手数ながら年賀詰の8題中では最も易しかったのではないのでしょうか。

・27にある駒を動かす

初手26歩はこれしかなく、その4手後に27の駒を動かすには27に駒移動してその駒を動かすしかない。先手は9手目迄、26歩～27飛～28飛～27飛～28飛。

・15に駒を動かす

4手目に15に駒を動かすには2手目14歩しかなく、その4手目に15に駒を動かすには15歩をどかすしかない。後手は8手目迄、14歩～15歩～16歩～15香。

・残りは6手詰

9手目迄は「▲26歩 △14歩 ▲27飛 △15歩 ▲28飛 △16歩 ▲27飛 △15香 ▲28飛」と進むと、攻方は初手26歩を指しただけで、受け方も玉周りが動いていない。

実質、初手26歩で詰む7手詰基本手順。10手目以降「△42玉 ▲25歩 △32玉 ▲24歩 △42飛 ▲23歩成」まで。

7手詰基本手順の初手と残りの6手の間に無駄手を8手も織り込み無駄手だけを条件とした構成の作品は、年賀詰らしい手順の易しさが好印象でした。

・先生が生徒に言った一言は？（作意）

先生「初手以外のヒントが全部無駄手でただの7手詰の引き伸ばしじゃないか」

出題のおまけで理詰めには解けません。作意のみ紹介します。ユニークな解答もいただきましたので、短評をご参照ください。

それではみなさんの短評をどうぞ。

諏訪冬葉（作者）「この問題の最初の形は、『7手で詰んだ』『▲27歩を動かした』でしたが、あんまりなので無理やり15の手を入れて11手にしました。これで終わりにしておけばいいのに「あと2手でもう1回△15の手ができる」と気付いてしまったのでこの形になりました。結果、15手手中半分以上が無駄手というふざけた問題になりました」

■決してふざけた問題ではなく、お祝い易問にぴったりです。8手もある無駄手条件が年賀のお題に見事に決まりました。

DD++ 「早くも私の2015年お気に入り作第1位が決定したようです。こういうおとぼけ作品

は実は普通の良作作るより難しいんですよ、本当に」

■作ってみると難しいことがよくわかります。

斧間徳子「遊び心に満ちた奇作。よくこんな手順を考えつくものですね」

■頭を柔らかくしないと、この発想はできませんね。

Pontamon「『27にある駒』は『初期配置27の駒』の意味なのかと危うく問い合わせるところでしたが、そのままの条件で解いてみると確かに初級問題でした。テーマ実現のために過半数の着手が無駄手で、提示条件もこの無駄手のためのものだけに出来るのも、元が『初手26歩の7手詰み』の1条件の手筋ならではすね」

■実は駒を動かしてみれば、すぐ意味が分かり手順も解る親切条件なのです。

孔明「86-3が初級と書いてある事に気付いたので先に解いてみたらすぐに解けました。無駄手の9手はすぐにわかったんですが6手の詰みが角を使うものだと思っていました。初手に▲2六歩と突いてあるので、これと合わせて7手だと気付いて納得しました。先生が言った言葉はわかりません。序の無駄手に関する事だろうとは推測できますが…」

■詰手順の推理も先生の一言の推理も的確でしたよ。

波多野賢太郎「これはやさしかったです。後半6手もすぐ思いつきました。先生は『新年だけに1.1秒で解けました。今度は1.1秒くらい考える問題を待ってますよ』なんて言ったりして…」

■1.1秒くらい考える問題は常時募集中です。ご投稿お待ちしております。

はなさかしろう「面白いです（笑）序の9手のうち有効手は初手のみ、といますか、10手目から我に返ったように詰みに向かって走り出すのがコミカル。先生の一言は、『メェー作だねえ……』解答待ちます（苦笑）」

■しゃれの解る先生の一言、有り難くいただきました。

飯山修 「笑いをとるのに最適」

■初笑いにぴったりの年賀詰。

小山邦明 「先手も後手も、おかしな手順が続いて面白い」

■無駄手と易しい手順のコラボが絶妙。

干シ 「私みたいな素人にもやさしい問題。面白かったです」

■15手詰が解ければ、素人ではなく立派なスイリストです。

S.Kimura 「先生が生徒に言った一言とは、『27にある駒を動かしました』ではある駒を27に動かしたのか、27に置いてある駒を動かしたのかが分かりづらいという指摘が多数ある、ということだと思います」

■ご指導ありがとうございました。(国語の先生ですね)

条件文だけ見ると、意味が3通りくらい取れそうな表現です。

・27にある駒を動かす

A: その局面で27地点の駒を移動する。

B: 開始局面での27地点の駒(歩)を移動する。

C: "ある駒"を27地点へ移動する。

占魚亭 「手順自体はやさしいですが、先生が言った一言が全く分かりません。うーん……」

■一言の答は一通りではありませんよ。作意とみなさんの短評を参照ください。

枘彰介 「指定手数で動かせる駒が一通りしかないで理詰めですぐ解けました」

■実質6手詰でしたので。

隅の老人B 「先生の言いたかったことは、『寄り道しないで、まっすぐ帰れ』じゃないかな」

■ご指導ありがとうございました。(生活指導の先生ですね)

渡辺 「15手もあって、すっきり条件の易問とは素晴らしい。私が先生ならそう言いたい」

■ありがたいお言葉賜りました。(推理将棋の先生ですね)

鈴木康夫 「プログラムに解かせました。局面891780333 所要時間2431秒。

先生の一言は『例の7手詰じゃないか!』だと思います」

■9手目迄一本道でも結構時間が掛かるんですね。先生の一言はプログラムでは解けませんが、ほぼ正解です。

たくぼん 「ふふふこれはお年玉ですね。ありがとうございます」

■年賀詰8題中の最易問のお年玉。

-----  
正解：18名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
干シさん 孔明さん 小山邦明さん 鈴木康夫さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん つぼみさん DD++さん  
波多野賢太郎さん はなさかしろうさん  
Pontamonさん 枘彰介さん 渡辺さん  
-----

86-4 上級 DD++さん作

謎多き年賀メール

15手

年が明けて数日が過ぎた頃、1通のメールが届いた。

送信者は不明。

本文は次のような3行のみであった。

15は27未

15の玉あり、そして金あり

どうして友に比較さる

今年の西暦と和暦と干支、'15年のお年玉額をなぜか友人に比べられた話。

いかにも年始らしい内容だがどうにも文章表現

に違和感がある。

何より、誰が何のためにこんな文章を送ってきたのかさっぱりわからなかった。

長考すること数時間。

ふとした記憶からこのメールの真意が少しずつ見えてきた。

このメールはおそらく将棋のある対局の内容を示している。

「15は27未」

この「未」は本当は「飛辻」すなわち十字に利く飛車のことだろう。

15手目は27飛と着手したわけだ。

「15の玉あり、そして金あり」

玉はお年玉ではなく玉将、15地点の玉将の手があったということのようだ。

後半も同じようにお金ではなく金将の手があった意だろう。

場所もタイミングもこれだけではわからないが。

「どうして友に比較さる」

これは解説に時間を要したが、同時に送り主特定の大きな手がかりでもあった。

裏の意味として漢字を変換し直すと「同四手共に飛角去る」。

つまり同の手は4手とも飛か角が取られたということだ。

そんな将棋はそうそうあるものではない。

そう、これはお年玉を貰った額を自慢し合いつつ友人と指した今年の指し初めだ。

この27飛もずいぶん印象的な詰みだったから間違いない。

このメールはその時に負けた友人が腹いせとしてイタズラしたということなのだろう。

しかし、返信しようとして指が止まった。

正月気分がふざけて指した将棋だったため、正確な手順をほとんど覚えていないのだ。

これでは迂闊な返事を書けないではないか。

もしこの時の対局の全手順がわかる人がいたら、再現してもらえないだろうか？

(条件)

- ・15手目27飛で詰んだ
- ・15玉という手があった
- ・金の手があった
- ・同の手は4手とも飛か角が取られた

出題のことば (担当 NAO)

ミステリ調の本格推理将棋登場。大駒が取られる同の手を推理しよう。

追加ヒント

同の手で飛角を取るのは先後共に2回づつ。88地点で飛角の取り合いがあります。

推理将棋 86-4 解答 担当 NAO

- ▲7六歩 △4二玉 ▲3三角不成 △同玉
- ▲2六歩 △2四玉 ▲8八飛 △同角不成
- ▲同銀 △3八飛 ▲同金 △1五玉
- ▲2四角 △2六玉 ▲2七飛 まで15手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四								角		
五										
六			歩					王		
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	飛	歩	
八		銀					金			
九	香	桂		金	王		銀	桂	香	

持駒 歩

条件

- ・15手目27飛
- ・15玉という手 (12手目15玉)
- ・金の手(11手目38同金)
- ・同の手は4手とも飛か角が取られた (4手目33同玉/角取り、8手目88同角不成/飛取り、9手目88同銀/角取り、11手目38同金/飛取り)

「15は27未。15の玉あり、そして金あり。どうして友に比較さる」謎に満ちた年賀メールが届きました。推理小説を彷彿とさせる舞台設

定は、文才溢れる DD++さんの十八番。しっかりとした作意手順とほどよい難解さが本格ミステリーの骨格を支えています。

早速謎解きしましょう。

・全 15 手で必要な手順は、

1) 15 手目の▲27 飛、27 飛のための▲26 歩 (先手 2 手)

2) 15 玉のための玉移動△42 玉、△33 玉、△24 玉、△15 玉。▲27 飛で詰むためのあと一手必要で△26 玉。(後手 5 手)

3) 金の手 (いずれか 1 手)

4) "同の手"で取らせるための飛角の手 (双方で 4 手) と"同の手" (双方で 4 手)

ここまでの手数を合わせるだけで 15 手を越えてしまい、更に角道を開ける手が必要ですので、1 手で 2 条件を兼用する工夫が必要です。

・後手玉移動に手数を要するので、86-2 と同様、序は先手がアシストします。

初手から「▲76 歩 △42 玉 ▲33 角不成 △同玉」ここまで"同の手"が 1 回。

・残りの"同の手"は 3 回あり、その直前は大駒着手が必要。ここで、後手番の厳しい着手制限に気づきます。

後で後手玉を詰ますために先手が駒を入手しなければいけないので、後手番は"同の手"直前の大駒着手を 2 手、"同の手"を 1 手指したい。ところが、玉移動に 5 手掛けるため残りは 2 手しかない。これが本問最大のミステリー。

・後手番があと 1 回"同の手"を指すには？

結局、"同の手"直前の大駒着手と"同の手"を兼用すればよい。△同大駒▲同大駒と連続して着手するには、後手の"同の手"直前に先手飛を後手角の効きに移動する手を指す。すなわち「▲88 飛△同角不成▲同銀」後手は飛を入手し、先手は 88 同銀で角を入手。

・残された条件を整理しましょう。

先手"同の手"残り 1 回。

15 手目は▲27 飛。飛車入手が必要。

金の手あり。

これらの条件から一連の手順「△38 飛▲同金～▲27 飛」が浮かびあがりました。

・これまでの手順を組み合わせると、「▲76 歩 △42 玉 ▲33 角不成 △同玉～(A)～△24 玉～(B)～▲88 飛 △同角不成 ▲同銀～(C)～△38 飛 ▲同金～(D)～▲27 飛」

あと一息です。この手順中、A～D にピースを嵌めれば解決します。

A: 5 手目▲26 歩。B, C:なし。D: 12 手目より△15 玉 ▲24 角 △26 玉。13 手目は 26 玉の退路封鎖。これが王手になるので唯一のタイミング。

・大駒の受け渡しが"同の手"でなくともよければ、手順前後できますが、"同の手"と後手玉の着手制約があって全手順が確定しました。

飛車を 88 で渡した後 38 で取り返す手順は盲点に入りやすく、何名かの解答強豪からも白旗が揚がる難しい問題でした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

DD++ (作者) 「他作品と並べてみるとやはりこの問題文の長さはさすがにナシだったような気も。にしても、解図の中心となる 4 つめの条件が最後に付けた条件だというのは、どうしてそれで成立したのか自分で見ても不思議」

■おもちゃ箱は紙面も制約ないので本作のような本格ミステリーも歓迎します。"同の手"条件は二番目に付けそうな条件で、88 地点での交換は意外性たっぷりです。

斧間徳子 「手順も会話文も力作」

■作者の文才が羨ましい。

Pontamon 「解けてしまおうと『やはりこの形だったか』と気が抜けましたが、同 3 回での 15 手、同 4 回だと 17 手がすぐに見えていたので、手順の何処かを工夫しなければとあれこれ一週間。理屈では連続同の着手が必要なのは判っていても、正解までが大変でした。まさかとは思ったけど先手玉で 15 玉条件クリアを試してみたりして十分にハマりまくりました。先手 25 歩と突かずに玉で 26 の歩を取らせることで手数短縮なのですね」

■先手の 15 玉まで探索されるとは。お疲れ様でした。

孔明「△3 四歩から△1 五玉として 2 筋に戻ると同の手が一手しか指せないのが▲3 三角不成とこじ開けるのはすぐにわかりました。ただ最終手のための飛車は 8 二の飛車だと思ってしまって手が足りなくて困りました。後手に渡した

飛車があることに気付いてからはすぐに手順が判明しました」

■ 88 で取られたら 38 で取り返す。

波多野賢太郎「これは新年からすごい力作ですね。メールの文面など、よく考えつくものだなと思いました。詰み形は予想通りでしたが、いかにタイミングよく飛角を取っていくかが難しかったです」

■ 並べてみると唸られます。手順前後の効かない唯一のタイミング。

はなさかしろう「詰め上がりは第一感でしたが手順の構築でうっかり勘違いしてはまりました。『どうして友に比較さる』条件はシンプルながら慣れるまでもぞもぞしているのが楽しい問題でした」

■ 早めに飛車を渡さないと手が足らなくなりますがね。

飯山修「2番の作と似ているので解きやすかった。金の手も後手で作られたらお手上げでした」

■ 流石に後手の金は余裕がありません。

小山邦明「『飛角が取られる』という条件で角が不成に限定される事に気付きました(成ると馬が取られる事になり条件を満たさない)。85-4の時と同様に角と馬が同じ駒のように感じてしまうのは要注意と思いました。玉が 26 まで来て、この詰め上がりはカッコいいし、条件文にあるように、こんな飛角の取られ方の将棋は確かにないですね」

■ 88 飛はあまり見ない手。普通に見える 88 同銀は推理将棋では滅多に無い手。

S.Kimura「最初は先手の角を 4 回取り合うことを考えていましたが、88 で飛車角交換できることに気付いて解決しました」

■ 飛車を渡してから飛角を取り返すのが本局のツボ。

諏訪冬葉「▲27 飛で詰みなので△26 玉▲24 角

の形と決め打ち。後手は玉移動 5 手+取られる大駒の手 2 手。先手の金は多分飛車を支える▲38 金。でこうなりました」

■ この形が決め打ちできると、解図が早い、早い。

たくぼん「問題文の練り方が本格的ですね。まさに本格ミステリー。相手の駒になると龍も飛になるので、飛取られた～といつも言ってる私は成生非限定に？とちょっと悩んだのでした」

■ 角生を成に替えたらという疑問です。原則"取られる"直前の駒種で表現しますので角成の後の同の手は馬を取るということ。

鈴木康夫「プログラムを 10 日走らせても終了せず、更に 10 日位かかりそうです」

■ その後、収束しましたでしょうか？

占魚亭「詰み形の予想はつくのですが……。ギブアップの可能性が高いです」

柘彰介「解けませんでした。これぞ推理将棋と言うに相応しいミステリー風に良く練られた文章がとても気に入りました。詰めパラでは紙面の都合でお目にかかることは無いストーリーを楽しめました」

隅の老人 B「残念、さすが上級は難しい、B 爺の手には負えない、ハイ、ギブアップ」

渡辺「降参です」

■ 強豪の皆様からも白旗があがりました。本格推理が楽しめる難解なミステリー作品でした。

-----  
正解：11名

飯山修さん S.Kimura さん 斧間徳子さん  
孔明さん 小山邦明さん 諏訪冬葉さん たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん  
はなさかしろうさん Pontamon さん  
-----

総評

DD++ 「NAOさん作が一目で解けなかった時には焦りましたが、なんとか元日解答。11手で15金までがなかったのは少し意外でした。条件次第で面白くなりそうな素材ですが、バッテリーを恐れて皆さん避けたのでしょうか。」

■元日解答おめでとうございます。15金までの11手詰は、年賀詰向けの易しい問題ができそうでしたね。

斧間徳子 「年賀推理将棋8題、類似作がなくバラエティに富んで面白かったです。私のベストワンは、85-4（はなさかさん作）です」

小山邦明 「前回85-4の解答を見てどつきり。そうか53角を成れば良いのか！角の着手回数という思い込みがあって残念でしたが、大変面白い作品でした」

■はなさかさん作85-4は角着手回数ではなく、角出没回数合わせのため成る手が1回だけある珍しい問題でした。

Pontamon 「86-1が一番難しそうだったけど、最終的には86-4が一番時間が掛かりました。年賀推理将棋なので応募作全てが掲載されたのにも関わらず、86回は易しいものから難しいものまでうまくバランスが取れていたように思いました」

波多野賢太郎 「新年特集パート2、全体的にはパート1よりやさしめに感じました。3番のような問題は評価が分かれるかもしれませんが、新年用の初級編として十分ありだと思います」

■86回は易しい方から3,2,1,4の順番でバランスが取れました。長い手数で易しい手順の年賀推理将棋は、作るのが難しいのですが良問が集まりました。

はなさかしろう 「年賀条件にひつじを織り込むのは無理か…と思っていたら、シープに始まり、飛込で締めましたね。来年は16と28でさる！？年々ハードルが上がっていくような(笑)」

■今年も難しい設定でしたが、佳作が集まりま

した。来年向けはホント難しそう。早めの準備を・・・

干シ 「初めてですが、2題解けたので上々かと。いつかは作品の投稿もしてみたいです」

つぼみ 「初めての解答です。解けたのは2題でした」

■初解答ありがとうございます。全題解けなくとも構いません。1題解答も歓迎いたします。

枘彰介 「今年はなるべく毎月解答したいので、簡単な問題を1問は出題していただくよう宜しくお願いします」

■9手以下を1問は出題していきたいと思いません。

隅の老人B 「2月は3題しか解けません。B爺さんの実力からすれば、3題も解けました、ですね。梅花は咲いたが、櫻の蕾は未だ固い。はやく暖かくなれないかなあ、です」

■春一番が吹き、花粉も飛んできました。クシュン

渡辺 「13手や15手を易しく作ることが出来るのは素晴らしいことです」

たくぼん 「皆さん年賀推理将棋上手く創るものと感心しています。今年もよろしくお願ひします」

■やや長目の手数の推理将棋を作る技術もこなれてきました。

-----  
推理将棋第86回出題全解答者： 18名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
干シさん 孔明さん 小山邦明さん 鈴木康夫さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん つぼみさん DD++さん  
波多野賢太郎さん はなさかしろうさん  
Pontamonさん 枘彰介さん 渡辺さん  
-----

## Fairy TopIX2014投票要項

Fairy TopIXとはウェブサイトで開催されたフェアリー詰将棋・推理将棋・プルフゲームを対象にお気に入り投票を行い、上位作に授賞するものです。Fairy TopIX2014は2014年にウェブサイトで開催された作品の中からお気に入り投票によって選ばれます。

### 【投票宛先】

WFP事務局(たくぼん)宛にメールにてお願いします。 [takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

### 【スケジュール】

投票開始：2014年3月号発行日  
投票締切：2014年4月30日  
結果発表：WFP平成27年5月号(83号)

### 【対象】

2014年にWeb Fairy Paradise誌に掲載された作品(過去作の紹介作は除く)。なお詳しくは後日発行予定の対象作品一覧で確認下さい。またWFP作品展につきましては神無七郎氏のサイト(OFM)でも全作品動く盤面で鑑賞いただけますのでそちらを参照下さい。

### 【部門区分】

#### 【フェアリー詰将棋】

短編部門：～15手  
中編部門：16～49手  
長編部門：50手～

#### 【推理将棋・プルフゲーム】

短編部門：～15手  
中長編部門：16手～

以上5部門となります。

### 【投票の仕方】

お気に入り投票として実施しますので何作投票していただいても構いませんが、お気に入り上位3作には1位～3位までの明記下さい。投票の際には集計間違いを防ぐため下記の項目を記載いただけると助かります。

- ・ 部門名
- ・ WFP何月号(または何号)
- ・ 作品展名(またはコーナー名)
- ・ (あれば)作品番号
- ・ 作者名&ルール名&手数
- ・ 投票作品へのコメント(部門別及び全体通してのコメントも出来ればお願いします)

\*なお後日発行の対象作品一覧には通し番号を打ってますのでそちらの記載でも構いません。

### 【投票集計方法】

投票順位に応じて作品毎に下記ポイントを加算し、各部門での合計ポイント順に授賞します。

- 1位：5点、
- 2位：3点
- 3位：2点
- 上記以外：1点

各部門得票数上位3作までが授賞となります。作者に授賞コメントをお願いすることになりますのでご協力よろしくお願いします。

選考ではありませんので、全部の作品を見てなくても構いません。お気に入りの作品をお好きなだけ書いて投票いただければ結構です。1票でも得票がある作品はすべて5月号に掲載いたします。今年もたくさんの投票をよろしくお願いいたします。

### 【呈賞】

投票頂いた方の中より1名の方に「今治市のゆるきゃら・バリィさんの5周年記念オリジナルフレーム切手を差し上げます。当選条件は決まっていますが内緒・・・です。お楽しみに・・・

対象作品一覧は4月始めにアップ予定です。しばらくお待ち下さい。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 2015年4月15日(日)

#### 第70回 WFP 作品展

フェアリー作品 10題

#### 強欲な世界 パート3

後欲協力詰 5作

### 2015年5月15日(水)

#### 第71回 WFP 作品展

フェアリー作品 10題

## 作品募集一覧

### 第42回神無一族の氾濫作品募集

テーマ：『詰』以外の目的を達成する作品

送り先：神無七郎宛

janacek789@ybb.ne.jp

詳細はP11をご覧ください

### Fairy of the Forest #43 作品募集

- 2015年02月20日：課題発表：(協力詰)  
玉の移動面積1以上9以内
- 2015年04月15日：投稿締切
- 2015年04月20日：出題
- 2015年05月15日：解答締切
- 2015年05月20日：結果発表

#### ■ 課題発表

自分自身ではあまり作れないのですが、狭い所でチマチマと、という作品が個人的に好きなので…。不動玉は移動面積0でしょうが、これは以前出題したことがあったので除外します。なお、重複して通った分はカウントしないことにします。例えば、11玉が縦に19まで行って、

また縦に11まで戻って詰んだとすると、移動面積は11～19の9マス=9とします。斜めに11から99まででしたら、8です。移動したマス目の数とした方がより正確かも知れませんが、移動面積は略称とお考えください。3×3内を玉がぐるぐる巡るといった感じの作品でしたら、理想的です。

多くの方々のご投稿をお待ちしています。

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

### フェアリー版くるくる展示室

- ・ 盤は9×9、駒は普通の将棋駒及び駒数内  
(フェアリー駒はとりあえず不可)
- ・ 後手持駒制限 OK
- ・ ルールは何でも OK (協力詰、かしこ詰、打歩詰、自玉詰系、スタイルメイトなど何でも OK)
- ・ 手数制限なし

投稿先は、WFP 編集部

たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp

## あとがき

早いもので盤寿?の節目81号となりました。約1年半後に100号ですね。そろそろ企画も準備しないとイケませんね。良い案がありましたら是非私まで。

結果稿を読んでの感想、意見、返信等ありましたらメール下さい。改訂時スペースに追加掲載します。(25日前後まで) たくぼん

2015年 第81号

### Web Fairy Paradise

非売品

平成二十七年三月号

平成二十七年三月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合せ先 takuji@dokidoki.ne.jp